

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

年次報告書

《2009年度(平成21年度)》

2010年(平成22年)5月

福 山 市

目 次

総 括	1 頁
個別事業の実施状況等報告書（継続事業）	5 頁
個別事業（新規事業）報告書	4 8 頁

基本理念

みんなで創る 子育てNo.1 ONLY. 1のまち ふくやま

基本目標

◎みんなで創る 新しい生命に出会い、育てる幸せを実感できるまち
 ◎みんなで創る 子どもが希望をもって 生き生きと育つ喜びのあるまち
 ◎みんなで創る 心と心で支え合う やさしさあふれる子育てのまち

基本方針 1 安心できる母子保健の推進		指 標	現状値（計画初期値）	2008年度実績	2009年度実績	目 標 値	ま と め	
基本 施策	・具体的な施策の実施状況							
1 妊娠・出産期の支援	・全小学校区1名以上の「子育て支援ボランティア」の配置（養成） ・こんにちは赤ちゃん訪問事業	子育て支援ボランティアの配置 乳児訪問率	52小学校区(2004年度) データなし	70/78小学校区 49.6%	74/78小学校区 86.6%	全小学校区(2012年度) 100%(2009年度)	妊婦一般健康診査を充実させるとともに、妊娠中から乳児期の育児不安の解消を図る「すこやか育児サポート事業」を引き続き行った。また、「子育て支援ボランティア」の養成を推進し、74小学校区まで拡大した。また、生後4か月までの児童のいる家庭に子育て支援ボランティア等が訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」は、全数訪問を目標に計画的に進めている。また、乳幼児健康診査の受診率向上の取り組みや、保健師等による訪問指導や乳幼児健康相談等で、食育の啓発などを実施し、子どもの心身の健全な発育・発達を支援した。さらに感染症に関しては、早期に定期予防接種を受けるよう家庭訪問、乳幼児健康相談等の保健事業や保育所（園）、学校での啓発を行い、まん延防止に努めている。	
2 乳幼児期から思春期までの保健対策	・食生活改善推進事業 子ども料理教室・講演会等食育をテーマにした講座開催 ・健康診査(乳児一般、4か月児、1歳6か月児、3歳児)の実施 ・予防接種の勧奨と情報提供	朝食を欠食する習慣のある児童 ・受診率(1歳6か月児) ・受診率(3歳児)	1歳6か月児 9.6%(2001年度) 3歳児 10.4%(2001年度)	— 91.9% 89.9%	— 92.6% 88.0%	0%(2012年度) 95%以上(2012年度) 90%以上(2012年度)		
	・学校の無煙化の推進(全校敷地内全面禁煙実施)	・BCGの予防接種終了児童(6か月児) ・麻しんの予防接種終了児童(1歳6か月児)	データなし 70.0%(2001年度)	96.9% 90.6%	98.2% 91.5%	90%以上(2012年度) 90%以上(2012年度)		
		校内全面禁煙校	小中学校61校(2004年度)	小中高等学校115校/115校	小中高校115校/115校	全校実施(2007年度から)		
3 楽しい育児の実現	・乳幼児健康相談の実施	夜10時までに寝る児童	1歳6か月児50.8%(2001年度) 3歳児 49.83(2001年度)	80.2% 76.7%	81.1% 76.7%	1歳6か月児80%以上(2012年度) 3歳児 80%以上(2012年度)		
4 小児医療の充実	・在宅当番、小児二次救急輪番病院、福山市医師会による福山夜間小児診療所の休日夜間診療の充実		2008年度実施状況 休日昼間一次診療 9医療機関(小児科含当番医) 毎夜間二次診療 小児診療4医療機関 毎夜間小児診療 (福山夜間小児診療所)		2009年度実施状況 休日昼間一次診療 9~10医療機関(小児科含当番医) 毎夜間・休日昼間二次診療 小児診療4医療機関 毎夜間小児診療 (福山夜間小児診療所)			
基本方針 2 子育て家庭に対する支援の充実								
基本 施策	・具体的な施策の実施状況							
1 保育所その他の施設での保育サービスの充実	・保育を必要とする児童の全員入所を基本に、保育内容の充実、保護者の就労形態や生活実態の変化に対応した保育サービスを提供	・保育所入所児童数	11,873人(2004年度)	12,167人	12,345人	12,000人(2009年度)		
		・延長保育実施箇所数						
		1時間延長	114箇所(2004年度)	112箇所	112箇所	105箇所(2009年度)		
		2時間延長	4箇所(2004年度)	4箇所	6箇所	13箇所(2009年度)		
		3時間以上延長	1箇所(2004年度)	3箇所	3箇所	4箇所(2009年度)		
		・休日保育実施箇所数	6箇所(2004年度)	6箇所	7箇所	5箇所(2009年度)		
		・病児・病後児保育実施箇所数	2箇所(2004年度)	4箇所	4箇所	5箇所(2009年度)		
		・一時保育実施箇所数	72箇所(2005年度)	71箇所	57箇所	75箇所(2009年度)		
		・夜間保育実施箇所数	2箇所(2004年度)	2箇所	2箇所	2箇所(2009年度)		

2009年度（平成21年度）実施状況 総括表

基本方針 2 子育て家庭に対する支援の充実		指 標	現状値（計画初期値）	2008年度実績	2009年度実績	目 標 値	ま と め
基本施策 ・具体的な施策の実施状況 ・「短期入所生活援助事業(ショートステイ・トワイライト)」 保護者の疾病や仕事等で、家庭で保育ができない場合に児童養護施設や乳児院で短期預かりを実施	・ショートステイ実施箇所数	2箇所(2004年度)	2箇所	2箇所	2箇所(2009年度)	地域子育て支援センター事業や、ふくやま子育て支援センター事業の拡充によって、地域の多様な子育て支援ニーズに対応し、また、ファミリー・サポート・センター事業や放課後児童クラブ事業、女性の再チャレンジ支援事業などによって、子育てと仕事の両立支援を推進した。子育て支援情報のガイドブック2009年度版を発行し、子育て家庭への情報提供を継続的に行った。 2007年度からの児童手当の3歳未満の手当額の引き上げや、乳幼児等医療費助成などの継続により、子育て家庭に対する経済的な支援を推進した。	
	・トワイライト実施箇所数	2箇所(2004年度)	2箇所	2箇所	2箇所(2009年度)		
・ファミリー・サポート・センター事業 子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員となって子育てを地域で支える事業を推進	協力会員数	114人(2004年度)	175人	187人	190人(2009年度)	2010年度新規事業 * 特別支援教育就学奨励事業 * 情緒・聴覚・言語等障がい児保護者付添交通費補助事業	
2 地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実 ・地域子育て支援センター事業の充実 保育所等を拠点として子育て家庭への子育て支援事業を展開 ・幼稚園事業での子育て支援事業の展開				公立 7箇所 私立12箇所	公立 7箇所 私立12箇所		
3 子育て家庭に対する情報提供の充実 ・2009年7月「あんしん子育て応援ガイド2009」を継続して発行				2008年度版発行 33,000部	2009年度版発行 33,000部		
4 子育てと仕事の両立支援の推進 ・放課後児童クラブ事業 保護者の就労支援と児童の健全育成のため、授業終了後に小学校等の施設を利用して、適切な遊びや生活の場を提供 ・女性の再チャレンジ支援事業 出産・育児等で離職し再就職を希望する女性のための合同就職面接会等開催		実施箇所数	75箇所(2004年度)	75箇所	75箇所	75箇所(2009年度)	
5 子育て家庭に対する経済的な支援 ・2007年4月から「児童手当」の3歳未満の手当額を拡充、及び「乳幼児等医療費助成」等の経済的支援事業の継続 ・2005年度から実施している「幼児インフルエンザ予防接種費補助事業」を継続 ・保育所保育料の多子軽減							
基本方針 3 次代を担う世代の育成		指 標	現状値（計画初期値）	2008年度実績	2009年度実績	目 標 値	ま と め
基本施策 ・具体的な施策の実施状況 1 生きる力を育成する学校の教育環境の整備 ・不登校児童生徒への取組(適応指導教室「かがやき」の運営、スクールカウンセリングプロジェクト事業の推進等) ・確かな学力の向上 子ども一人ひとりに応じた指導の充実、基礎基本の習得、個性を伸ばし選択能力を向上させる取組みの推進	不登校児童生徒出現率	1.58%	1.44%	1.44%	1.17%(2010年度)	学校教育においては、子ども一人ひとりに応じた指導の充実、基礎基本の習得を図り、英語教育の推進、北京市教育交流推進事業を通じて国際理解教育をすすめる、「確かな学力の向上」に努めた。また、適応指導教室の運営やスクールカウンセリングプロジェクト事業を実施し、不登校児童生徒への取組を図った。 チャレンジウィークふくやま(職場体験学習)、公共施設での中高校生のインターンシップの受け入れも継続して実施した。 また、放課後子ども教室の実施や、子育て支援ボランティアの養成等を通して、地域住民の子育て力の向上の支援と連携を図った。	
	・少人数指導推進支援事業の推進 基礎学力の定着を図るための少人数指導等の工夫改善	指定校では年間計画授業数の80%以上で少人数指導を実施	—	100%(50校)	100%(50校)		100%
・北京市教育交流推進事業 生徒の国際的視野や感覚を身に付け、国際交流を図る						2010年度新規事業 * ものづくり啓発事業 * 市立四年生大学の設置 * 環境出前授業 * 環境教育副読本の作成・配布 * 市立動物園 * 地域ポイント制度(まちづくりパスポート)事業	
・英語教育の推進 実践的コミュニケーション能力の育成を図り、国際理解教育を推進	中学校全クラスが、2週間に1回はALT(英語指導助手)と授業をする	—	100%	100%	100%(2009年度)		
・豊かな心の育成 「チャレンジ・ウィークふくやま(職場体験学習)」の実施、ボランティア活動や乳幼児との交流など社会体験活動の充実							
2 家庭における教育力の向上 ・公民館において親子のふれあいや保護者同士の交流を図る「子育て支援交流事業」を推進		事業開催箇所数	全地区公民館(73館)で実施	全地区公民館(79館)で実施	全地区公民館(79館)で実施	全地区公民館(79館)で実施	
3 地域における教育力の向上 ・子どもと地域住民との交流、子どもが安全・安心していられる場所として「放課後子ども教室(子どもの居場所づくり事業)」を推進 ・職場体験学習・インターンシップの受け入れ 中高校生の勤労体験学習の実施		実施箇所数	22箇所(2004年度)	38箇所	36箇所	全区で実施(2009年度)	
4 次代の親の育成 ・保育所等において、中学生など異世代との交流を実施							

2009年度（平成21年度）実施状況 総括表

基本方針 3 次代を担う世代の育成		指 標	現状値（計画初期値）	2008年度実績	2009年度実績	目 標 値	ま と め
基本施策 ・具体的な施策の実施状況 5 児童生徒の健全育成の推進 ・子ども議会の開催【新規】 ・「子ども読書活動推進計画」の策定【新規】 ・小・中・高校生までの特別展観覧の無償化【新規】 ・マウイ高校生派遣事業【新規】 6 地域全体との協働による子育て支援の推進 ・子育て支援ボランティアの養成、ファミリー・サポート・センター事業等を通して、地域の子育て力の向上を支援							
基本方針 4 援助を必要とする子育て家庭への支援		指 標	現状値（計画初期値）	2008年度実績	2009年度実績	目 標 値	ま と め
基本施策 ・具体的な施策の実施状況 1 児童虐待防止対策の充実 ・「福山市児童虐待防止等ネットワーク」活動の推進 関係機関の連携を強化するとともに、児童虐待防止啓発講演会・研修会の開催、啓発用懸垂幕・リーフレットの作成、オレンジリボンキャンペーンなど啓発事業を展開 ・育児支援家庭訪問事業の充実 2 ひとり親家庭等の自立支援の推進 ・自立支援教育訓練給付金・高等技能訓練促進費の支給 ・ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業 ひとり親家庭の親の就業等による自立を支援 3 障がい児施策の充実 ・特別支援教育に向けた校内体制の整備等障がい児教育の充実 ・障がい者等総合相談支援事業の「子ども発達相談室」の実施 ・障がい児通園施設利用者負担軽減事業など障がい福祉サービス等の充実		虐待していると思ったこと	就学前12.7%(2003年度) 小学生 9.3%(2003年度)	就学前30.4%(2008年度) 小学生30.7%(2008年度)	—	減少(2009年度)	「福山市児童虐待防止等ネットワーク」の円滑な運営に努め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応に取り組むとともに、市民啓発事業を推進した。また、育児不安を抱える家庭の支援を行う育児支援家庭訪問事業をこころには赤ちゃん訪問事業等と連携して実施した。 生活基盤が脆弱であることの多いひとり親家庭については、教育訓練給付金事業等のほか、ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業を推進し、ひとり親家庭の親の就業・自立を支援した。 学校教育においては、特別支援教育に向けて指導体制、支援体制の整備を図った。 障がい児通園施設利用者負担軽減事業、重症心身障がい児(者)通園事業により支援の充実を図り、障がい者等相談支援事業として「子ども発達相談室」を推進した。
基本方針 5 子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備 基本施策 ・具体的な施策の実施状況 1 安全で、安心して子育てができるまちづくりの推進 ・「ユニバーサルデザイン」を基本とした事業の推進 ・都市公園バリアフリー化整備事業【新規】 2 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進 ・「子ども110番事業ネットワーク会議」開催、「子ども110番の家」事業の推進、 ・スクールサポートボランティア等子どもを犯罪被害から守る活動を推進 ・「福山市生活安全連絡会議」による「子どもの安全対策」の推進 ・青色回転灯を装備した生活安全パトロール車による子どもの見守り活動及び地域青色防犯パトロール実施団体支援事業の展開 ・地域安全マップ普及推進事業 「地域安全マップセミナー」を開催し指導者を養成・派遣し地域防犯を推進 ・子どもの安全確保 通学路沿い公共施設への防犯カメラシステムの設置及び、小学校新入生への防犯ブザー、ランドセルシールの配布の継続した実施 ・緊急通報システムの整備 市内の保育所、幼稚園、放課後児童クラブへ緊急通報システムを整備 ・不審者情報等配信事業の実施 児童の安全確保のため、児童の保護者等に不審者情報等をメールで配信 3 子どもを取り巻く有害環境対策の推進 ・「少年社会環境浄化モニター」による実態調査及び啓発活動を実施 4 子どもの交通安全を確保するための活動の推進 ・保育所、幼稚園、小学校児童を対象とした「交通安全教室」の開催 ・自転車利用者対策事業【新規】							「ユニバーサルデザイン」の啓発・推進、及び、地域、警察と連携して防犯体制の整備や青少年補導員協議会やPTA等との連携による青少年の非行防止活動を継続して実施した。 また、「子どもの安全対策」として、保育所・幼稚園・放課後児童クラブへの緊急通報システムの整備、不審者情報等配信、通学路の安全対策事業等に引き続き取り組んだ。地域においても、地域安全マップ普及推進事業を進めるとともに、住民による子どもの通学時の見守り活動が、「協働」の取組みとして継続されている。

2010年度新規事業
 * 子ども健全育成支援事業
 * 発達障がい児の支援

2010年度新規事業
 * 市営住宅入居専用枠の設定

【新規】2009年度新規事業のもの

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-1-1 (1-3-1-2-2-6-2-3-4-3-6-2-4-1-2)	1-1-2	1-1-3
担当部課		保健部総務課	保健部健康推進課	保健部健康推進課
具体的な施策 (個別事業名)		子育て支援ボランティア事業	母子健康手帳の交付	妊婦一般健康診査
事業概要		市保健師と連携して家庭訪問等により、保護者の話し相手になったり、子育ての情報提供を行うことが出来るように、子育て支援ボランティアを育成するもの	安全な妊娠・出産のための情報提供や妊娠・出産・子育てに関する一貫した記録など母子が自らの健康管理に活用するための母子健康手帳を交付し、母子保健事業を啓発するもの	医療機関において、問診、診察、血液検査等を行い、妊婦の健康確保を図るもの
数値目標等		子育て支援ボランティアの配置	—	—
現状値		52小学校区(2004年度)	—	—
目標値		すべての小学校区(2012年度)	—	—
09年度実施状況等	実績値	74小学校区/78小学校区	—	—
	区分	【継続■新規□】 ○全小学校区に1名以上の子育て支援ボランティアを登録(養成)することを目標に、2003年度から子育て支援ボランティアの養成を実施した。 ○こんにちは赤ちゃん訪問事業等に必要な内容を養成講座に追加した。 ○2009年度の養成により新規登録15名、全登録者数205名となり、78小学校中、74小学校区が登録済となった。 ○フォローアップ研修を開催した。 回数:4回 参加者:延171名 【課題】 今後は、未登録学区を中心に募集を行う	【継続■新規□】 福山市保健センター、市民課、各支所・分室等で妊娠届けをした人に交付している。 交付数 4,964冊 (外国語日本語併記母子健康手帳も含む。その種類は、ポルトガル語・タガログ語・中国語・英語・ハンガール・タイ語・インドネシア語・スペイン語の8か国である。)	【継続■新規□】 妊婦が、かかりつけ医において、妊婦一般健康診査を受診しているうちの14回分について、市が交付した妊婦一般健康診査補助券等を使用して受診している。 受診件数 62,212件
2010年度計画	【継続■廃止□】 ○子育て支援ボランティアの養成講座の開催 ○子育て支援ボランティアのフォローアップ研修の開催 ○子育て支援ボランティアによる、子育て支援活動推進の支援	【継続■廃止□】 ○母子健康手帳の交付予定数5,300冊 (妊娠届出数により変化するものであり目標数ではない) ○引き続き外国語日本語併記母子健康手帳を交付する。	【継続■廃止□】 妊婦一般健康診査補助券 4,680人×14枚 妊婦一般健康診査検査券 4,680人×1枚 子宮頸ガン検査券 4,680人×1枚 (妊娠数により変化するものであり目標数ではない)	
	(予算額:千円)	139	612	409,464
備考 (特記事項)	子育て支援ボランティアの活動については、健康推進課及び各保健事業実施課と連携し支援する。			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-1-4 (1-2-5・1-3-2)	1-1-5	1-2-1
担当部課		保健部健康推進課	保健部健康推進課	保健部健康推進課
具体的な施策 (個別事業名)		すこやか育児サポート事業	こんにちは赤ちゃん訪問事業	乳幼児の事故防止
事業概要		産婦人科医, 小児科医, 市保健師が協力し, 妊娠中から乳児期の子育て不安に対して, 小児科医の保健指導や市保健師の家庭訪問を行い, 不安の軽減を図るもの	生後4か月までの乳児のいる家庭に, 子育て支援ボランティア等が訪問し, 育児についての情報提供をするとともに, 親子の心身の状況や養育環境を把握するもの 支援が必要な家庭に対しては, 関係機関と連携を図り, 継続した支援を行う	不慮の事故による乳幼児の死亡を防ぐための取り組みをするもの
数値目標等		現状値	2007年度	目標値
	妊婦・出産に満足している人	データなし	79.6%	100% (2012年度)
	妊婦の喫煙率	データなし	12.9%	0% (2012年度)
	●ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握	データなし	48.3%	100% (2012年度)
現状値			乳児訪問率	4歳までの不慮の事故死亡率 (人口10万対)
目標値			—	15.3(2001年)
			100%(2010年度)	0(2012年)
09年度実施状況等	実績値		86.6%	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	○ハイリスク妊婦及びハイリスク児等の, 訪問を実施して育児不安の軽減に努めるとともに, 育児支援家庭訪問事業と連携してハイリスク家庭を支援している。 ○すこやか育児サポート事業 145件	訪問件数 3,859件 《訪問者の内訳》 ・子育て支援ボランティア1,099件 ・育児家庭訪問員 1,078件 ・保健師 1,682件	乳幼児健康相談及び乳幼児健康診査時などで, 事故防止についての啓発をしている。 【参考】 2006年 1件(4.6) 2007年 2件(9.1) 2008年 3件(13.8) (人口10万対死亡率)
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		すこやか育児サポート事業 120件	訪問予定 4,500件 子育て支援ボランティア 2,000件 育児家庭訪問員 1,500件 保健師 1,000件	4歳までの不慮の事故死亡率(人口10万対)0を目指して, 各年齢(月齢)に応じた不慮の事故の予防について啓発する。
(予算額:千円)		447	8,629	40
備考 (特記事項)			※育児支援家庭訪問事業と連携	人口動態は, 年度の集計はできない

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-2-2	1-2-2	1-2-3 (1-3-3)		
担当部課		保健部健康推課	学校教育部学校保健課 児童部保育課	保健部健康推進課		
具体的な施策 (個別事業名)		食生活改善対策	食生活改善推進事業	離乳食講習会		
事業概要		偏食防止・朝食摂取等子どもに望ましい食生活を身につける啓発を推進するもの	偏食防止、朝食摂取等子どもに望ましい食生活を身につける啓発を推進するもの	離乳食の必要性、進め方、作り方などを指導し、試食の機会を提供するもの		
数値目標等		朝食を欠食する習慣のある児童・生徒		講演会等の開催回数		
	現状値	現状値 (2001年度)	2007年度	目標値 (2012年度)	各小学校1.5回(2007年度)	
	目標値	1.6歳児	9.6%	5.7%	0% (2012年度)	各小学校2回(2008年度)
		3歳児	10.4%	9.9%		
実績値		小学3年生	—	4.7%	各小学校1.7回	
区分		中学2年生	—	20.1%	—	
09年度実施状況等	実施内容及び課題等	【継続 ■ 新規 □】		【継続 ■ 新規 □】		
		<p>○公民館等で子どもを対象に「食育」を中心とした料理教室を開催した。 (食生活改善推進員による料理教室実施など) 実施回数 184回 参加者 4,873人</p> <p>○市民向けに食育講演会の開催 実施回数 1回 参加者 303人</p> <p>○ヘルシーメニューコンテスト(朝食メニュー)を開催(応募作品855件)入賞作品レシピ集を作成し、配布(3,000部作成)</p>	<p>○各小学校において、栄養士による講演会等を実施し、朝食の必要性など食生活の啓発をした。 ○公立幼稚園11回、中学校12回、栄養士による「食育」に関する講話を実施し、朝食の必要性など食生活に啓発をした。 ○保育所児童を対象に、保育課栄養士が作成した教材を使用し、食育指導を実施 2009年度 26所へ対応</p> <p>○子育て支援活動のなかで「バランスの良い食事」「簡単にできるクッキング」などデモンストレーションをしながら未入所児童保護者を対象とした「食育」を実施 2009年度 71回実施</p>	<p>健やかな母子・親子関係の形成を促し育児に自信をもたせることを基本とし、健全な生活リズムを身につけ食べる楽しさを体験していくことができるよう、一人ひとりの子どもの「食べる力」を育むための支援を観点におき、そのうえで、離乳食の必要性・進め方・作り方を指導し、試食の機会を提供した。</p> <p>実施回数 44回 参加者数 延べ1,065人</p>		
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】		【継続 ■ 廃止 □】		
		2009年度と同様に実施		継続して実施		
(予算額:千円)		620		0		
備考 (特記事項)				301		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-2-4 (1-3-4)	1-2-6	1-2-7
担当部課		保健部健康推進課	保健部健康推進課	保健部保健予防課 他(※)
具体的な施策 (個別事業名)		乳幼児健康相談	乳児一般健康診査, 4か月児健康診査, 1歳6か月児健康診査, 3歳児健康診査	予防接種
事業概要		乳幼児の問診, 身体測定, 発育・発達の確認, 育児相談, 歯科相談, 栄養相談を行うことで乳幼児の心身の健全な発育・発達を支援するもの	医療機関等において乳児の疾病, 障がいの早期発見, 心身の健全な発育・発達などを促すとともに, 親の育児不安を解消するため, 乳幼児の健康診査を実施するもの	子どもの疾病予防のため, 予防接種の勧奨及び情報提供を行うもの
数値目標等		夜10時までに寝る児童	幼児健診の受診率	
		現状値 2007年度 目標値 (2012年度)	現状値 (2001年度) 2007年度 目標値 (2012年度)	現状値 2009年度 目標値
現状値		1.6歳児 50.8% 3歳児 49.3%	1.6歳児 89.0% 3歳児 82.4%	6ヶ月までにBCG予防接種済みの児童 データなし 1.6歳までに麻しん予防接種済みの児童 70% (2001年度)
目標値		80%以上 80%以上	95%以上 90%以上	98.2% 91.5% 90%以上 (2012年度) 90%以上 (2012年度)
実績値		—	—	
区分		【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
09年度実施状況等	実施内容及び課題等	保健師・栄養士・歯科衛生士による健康相談をするなかで, 生活リズムの重要性についての指導をしている。 2009年度 夜10時までに寝る児童の割合 1歳6か月児健康診査 81.1% 3歳児健康診査 76.7%	乳幼児の健康診査は, 個別健康診査(乳児一般健康診査・4か月児健康診査)と集団健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)で実施している 2009年度 幼児健康診査実施回数 1歳6か月児健康診査 60回 3歳児健康診査 60回 2009年度 幼児健康診査受診率 1歳6か月児健康診査 92.6% 3歳児健康診査 88.0%	○広報, 乳幼児健康相談, 幼児健康診査の機会などにおいて予防接種の勧奨を実施した。 ○家庭, 保育所(園), 幼稚園, 小中高校を通じて児童・生徒に予防接種の勧奨を実施した。 ○麻しん風しんの3期4期接種対象者に対し, 接種率向上に向けて接種勧奨はがきを送付した。(9,040通)
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 2009年度と同様に実施	【継続 ■ 廃止 □】 2009年度と同様に実施	【継続 ■ 廃止 □】 あらゆる機会に, 予防接種の勧奨及び情報提供し接種率を向上することにより, 子どもの健やかな成長を育むとともに感染症のまん延を防ぐ。
(予算額:千円)		596	20,233	324,127
備考 (特記事項)				(※)その他の関係部署 健康推進課等保健事業実施課 学校保健課 (児)庶務課 保育課

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-2-8 (3-4-2)	1-2-9	1-4-1												
担当部課		保健部保健予防課 他(※)	学校教育部指導課	保健部総務課												
具体的な施策 (個別事業名)		思春期の保健対策	学校の無煙化の推進	小児医療の充実												
事業概要		小中学生の喫煙・飲酒防止教育の実施、性や性感染症に関する正しい知識の普及・啓発を行うもの	学校において喫煙防止教育を実施するとともに、敷地内全面禁煙を推進する。	在宅当番、小児二次救急輪番病院、福山市医師会による福山夜間小児診療所の休日夜間診療の充実												
数値目標等	未成年者の飲酒割合 (最近1か月の飲酒経緯)	未成年者の喫煙率(中学2年)	0%	—												
		未成年者の喫煙率(高校2年)	0%													
		(中学2年)	0%													
		(高校2年)	0%													
現状値		0%	学校の無煙化	—												
目標値		0%	小中高校61校(2004年度から)	—												
			全校実施(2007年度から)	—												
09年度実施状況等	実績値	<table border="1"> <tr> <td>ストレスを感じる人の割合(小6)</td> <td>43.0%</td> <td>44.2%</td> <td>38%以下</td> </tr> <tr> <td>ストレスを感じる人の割合(中2)</td> <td>51.6%</td> <td>61.3%</td> <td>46%以下</td> </tr> <tr> <td>ストレスを感じる人の割合(高2)</td> <td>62.8%</td> <td>73.6%</td> <td>49%以下</td> </tr> </table>	ストレスを感じる人の割合(小6)	43.0%	44.2%	38%以下	ストレスを感じる人の割合(中2)	51.6%	61.3%	46%以下	ストレスを感じる人の割合(高2)	62.8%	73.6%	49%以下	小中高校115校/115校	
	ストレスを感じる人の割合(小6)	43.0%	44.2%	38%以下												
	ストレスを感じる人の割合(中2)	51.6%	61.3%	46%以下												
ストレスを感じる人の割合(高2)	62.8%	73.6%	49%以下													
区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】													
実施内容及び課題等	<p>○小中学校での喫煙・飲酒防止教育(小学校9校・中学校8校、その内中学校4校は薬物防止教育を実施した。)</p> <p>○小中学校における「生と性」の講演会として、中学校3校で実施した。</p> <p>○依頼による性教育を高校3校、その他3会場で実施した。</p> <p>○乳幼児健康相談や幼児健康診査などで適正な体重の意義の啓発を実施した。</p> <p>○小中学生の喫煙・飲酒に対する防止として、地域における補導活動や青少年センターによる常時・合同・特別補導活動を実施した。</p> <p>喫煙補導数 519件</p>	○全校で敷地内全面禁煙を実施	<p>○休日昼間の一次診療を市内の9～10医療機関(小児科以外も含む)の当番医により実施</p> <p>○毎夜間及び休日昼間の二次診療を13医療機関(小児は4医療機関)の輪番により実施</p> <p>○福山市医師会が毎夜間、福山夜間小児診療所(医師会館)において小児科診療を実施</p> <p>○2009年度から、休日昼間の在宅当番医療機関において、冬期の小児患者の増加に対応するため12月20日～3月21日までの期間、小児科を従来の1医療機関から2医療機関体制とした。</p>													
2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】													
	<p>○小中学校での喫煙・飲酒防止教育を実施する。</p> <p>○小中学校における「生と性」の講演会を実施する。</p> <p>○子どもを産み育てるために適正な体重の意義の啓発をする。</p> <p>○小中学生の喫煙・飲酒に対する防止として、地域における補導活動や青少年センターによる常時・合同・特別補導活動を実施する。</p>	<p>○全校で敷地内全面禁煙継続</p> <p>○地域、関係団体への啓発活動の継続</p> <p>○喫煙防止教育の充実</p>	○2009年度と同様に実施													
(予算額:千円)	64	0	90,174													
備考 (特記事項)	(※)その他の関係部署 青少年課 (保)総務課 健康推進課等保健事業実施課 学校保健課 指導課															

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)
担当部課		児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (保育所入所児童数)	保育サービスの充実 (延長保育1時間延長)	保育サービスの充実 (延長保育2時間延長)
事業概要		保育を必要とする児童の全員入所、児童一人ひとりの人権を大切にする心を育てる保育の充実、保護者の就労形態や生活実態の変化に対応できる保育サービスの充実に推進するもの	保護者の就労形態の多様化等に 伴い保育所の開所時間を超えて保 育を行うもの	保護者の就労形態の多様化等に 伴い保育所の開所時間を超えて保 育を行うもの
数値目標等		入所児童数	実施箇所数	実施箇所数
現状値		11,873人(2004年度)	114箇所(2004年度)	4箇所(2004年度)
目標値		12,000人(2009年度)	105箇所(2009年度)	13箇所(2009年度)
09 年度 実 施 状 況 等	実績値	12,345人	110箇所	6箇所
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	○途中入所による弾力的な入所児童の受け入れ ○入所定員の拡大	公立保育所(67箇所)及び私立保育所(43箇所)で実施	私立保育所(6箇所)で実施
2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
(予算額:千円)	12,370人 ○公立 5,565人 ○私立 6,805人	108箇所 ○公立65箇所 ○私立43箇所(法人移管分1所有)	5箇所 ○公立 -箇所 ○私立 6箇所	
備考 (特記事項)	11,944,994	※238,992	※41,100	
	児童数は、各年度3月1日現在	※予算額は私立分のみ	※予算額は私立分のみ	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)
担当部課		児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (延長保育3時間以上延長)	保育サービスの充実 (休日保育)	保育サービスの充実 (夜間保育)
事業概要		保護者の就労形態の多様化等に 伴い保育所の開所時間を超えて保 育を行うもの	保護者の就労形態の多様化に対 応するため、日曜・祝日の保育を行 うもの	夜間、保護者の就労等による保 育ニーズへの対応を図るもの
数値目標等		実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数
	現状値	1箇所(2004年度)	6箇所(2004年度)	2箇所(2004年度)
	目標値	4箇所(2009年度)	5箇所(2009年度)	2箇所(2009年度)

	実績値	3箇所	7箇所	2箇所
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
09 年度 実施 状況 等	実施内容 及び課題等	私立保育所(3所)で実施 ○3時間延長 1所 ○4時間延長 2所 ○5時間延長 1所	公立(1箇所), 私立(5箇所)で実 施	私立保育所2箇所 で実施 (開所時間) 午前10時～翌日午前2時
	2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 3箇所 ○公立 1箇所 ○私立 3箇所	【継続 ■ 廃止 □】 6箇所 ○公立 1箇所 ○私立 5箇所	【継続 ■ 廃止 □】 2箇所 ○公立 1箇所 ○私立 2箇所
	(予算額:千円)	※44,132	※4,606	4,920
	備考 (特記事項)	※予算額は私立分のみ	※予算額は私立補助分のみ	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)
担当部課		児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (病児・病後児保育)	保育サービスの充実 (一時保育)	保育サービスの充実 (保育所児童保育環境の改善)
事業概要		病気の状態(回復期を含む)にある児童で、集団保育等が困難な場合に医療機関に付設された専用スペースで一時的に預かるもの	保育所に入所していない就学前児童を、保護者の傷病・入院、災害・事故、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消を図るため、緊急・一時的に預かるもの	老朽化が進行する保育所の大型遊具の更新、空調設備の整備及び施設修繕を進めるなど、保育環境を改善し児童福祉の向上を図ることを目的とするもの
数値目標等		実施箇所数	実施箇所数	—
	現状値	2箇所(2004年度)	72箇所(2005年度)	—
	目標値	5箇所(2009年度)	75箇所(2009年度)	—

09 年度 実施 状況 等	実績値	4箇所	57箇所	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	医療機関 4箇所 ○橋高クリニック ○小池やすはら小児クリニック ○いぶき小児科 ○福山市民病院	保育所未入所児童の保護者の子育てを支援した。 ○実施施設数 57箇所 ・公立 48箇所 ・私立 9箇所	○保育所保育室空調設備整備 34所 42基 ○保育所大型遊具更新整備 2所
	2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 3箇所 ○橋高クリニック ○いぶき小児科 ○福山市民病院	【継続 ■ 廃止 □】 60箇所 ○公立 48箇所 ○私立 12箇所	【継続 ■ 廃止 □】 ○保育所プール遮光ネット設置 紫外線対策のため遮光ネット未整備のプールへ計画的に設置 ○保育所大型遊具更新 大型遊具について、安全性、経過年数及び老朽化度等を総合的に勘案し、計画的に更新
	(予算額:千円)	34,674	※28,530	14,200
	備考 (特記事項)	※小池やすはら小児クリニックは2010年3月31日事業中止。新規開設施設については、今後検討する。	※予算額は私立分のみ ※2009年度より第2種社会福祉事業となる。	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-2 (3-1-6)	2 - 1 - 3	2-1-5 (2-4-6)
担当部課		児童部保育課 学校教育部指導課	児童部庶務課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		保育所・幼稚園の連携, 就学 前教育・保育と小学校の連携	就学前施設の再整備	幼稚園での預かり保育
事業概要		保育所・幼稚園それぞれの特性 を活かした多様な保育・教育の提 供及び幼児期の教育と小学校以降 の教育との円滑な移行を図るため, 保育所・幼稚園・小学校間の連携を 図るもの	今後の児童数の推移, 地域の 実態, 保護者のニーズ, 施設の 老朽化などに応じた保育所の再 整備を行うもの	私立幼稚園において日常の保育 終了後や長期休暇の期間において 預かり保育を行う。
数値目標等		—		—
	現状値	—		—
	目標値	—		—

09 年度 実施 状況 等	実績値	—	5施設	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 新規】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	○各保育所・幼稚園と小学校にお いて, 個に応じた指導を継続するた め, 入学時等に必要な連携を図っ ている。 ○行事を通して子ども同士の活動 の交流, 及びカリキュラムの研究	2008年度からの繰越事業 公立保育所 2所改築 (蔵王, 樹徳) 私立保育所 2所改築 (ももやま, 草戸) 2009年度事業 公立保育所 1所改築 (服部南) 私立保育所 2所改築 (宜山ひかり, まこと)	○私立幼稚園 全23園で実施
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 廃止】 ○2009年度からの繰越事業 公立保育所 1所改築 (服部南) 私立保育所 1所改築 (まこと) ○2010年度事業 公立保育所 1所改築設計 (川口) 私立保育所 3所改築等 (水呑, 鞆認定こども園, 童心園)	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施
(予算額:千円)		0	688,915	0
備考 (特記事項)			※予算額は2009年度からの繰越額 及び2010年度予算	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-6	2-1-7 (2-4-5)	2-1-8
担当部課		児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	児童部保育課
具体的な施策 (個別事業名)		短期入所生活援助事業 (ショートステイトワイライト)	ファミリー・サポート・センター事業	家庭保育福祉員
事業概要		保護者の疾病や疲労、仕事などにより、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童養護施設や乳児院においてショートステイを、保護者の仕事などにより平日の夜間などに不在となり、家庭において児童を養育することが困難となった場合にトワイライトを実施するもの	保育所などへの児童の送迎及び預かりなど、子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員となって子育てを地域で支えるもの	一定の資格を持つ人で、自宅の一室を保育室として開放し、乳幼児の保育を行うもの
数値目標等		—	ファミリー・サポート・センター協力会員数	—
現状値		—	114人(2004年度)	—
目標値		—	190人(2009年度)	—

09 年度 実施 状況 等	実績値	—	187人	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容 及び課題等	○実施箇所 ・ショートステイ 2ヶ所 福山乳児院(0, 1歳) こぶしヶ丘 (2歳以上) ・トワイライト 2ヶ所 福山乳児院(0, 1歳) こぶしヶ丘 (2歳以上)	○援助の希望にできるだけ応じ、相互援助活動がスムーズにいよいよ努めてきた。	○活動延べ件数2,986件は、前年度(2,993件)とほぼ同じ。主な活動は、学童の迎え、習い事等の援助、帰宅後の預かり。	○福祉員数 1名 受諾児童数 平均4名
	○利用状況 ・ショートステイ 2人10日 乳児院 1人 3日 こぶし 1人 7日 ・トワイライト 1人41日 こぶし 1人41日	○2010年3月末会員数 依頼会員 526人(536人) 協力会員 187人(175人) 両方会員 98人(83人) ()内は2009年3月末	○依頼会員に比べて、協力・両方会員が少ない。	
2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 □ 廃止 ■】	
	2009年度と同様に実施	継続して実施 ○地域バランスを勘案した協力会員の確保 ○ファミリー・サポート会員の研修内容の充実		
(予算額:千円)	183	6,693	0	
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-2-1 (2-3-2)	2-2-2 (2-3-3)	2-2-3 (3-2-1)
担当部課		児童部子育て支援課	児童部保育課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		ふくやま子育て応援センター	地域子育て支援センター事業	家庭児童相談室
事業概要		育児相談、保護者によるサークル活動の支援、子育て支援事業に関する情報提供等地域の子育てを総合的に支援するもの	保育所を拠点として子育て一般家庭への子育て支援事業を行うもの	家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため家庭児童相談室を設置し、相談員が家庭における児童養育に関する相談に応じ、必要な助言指導を行うもの
数値目標等		—	—	子育てに関する不安や負担感
現状値		—	—	就学前児童60.8%、小学生児童56.1%(2003年度)
目標値		—	—	減少(2009年度)
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等	<p>前年度比、相談件数は16%増加、情報提供数は52%増となっている。</p> <p>相談件数 1,580件(1,360件) 情報提供数 11,548件(7,595件) ()内は、2009年3月末</p> <p>まなびの館ローズコム内のふくやま子育て応援センター「キッズコム」の認知や施設内のプレイルームの利用、情報コーナーの定着もあり、利用者数の大幅な増加となっている。</p>	<p>子育て応援センター、地域の拠点保育所を中心として、家庭で子どもを保育している保護者や子どもを対象に遊びの場・相談の場を提供</p> <p>公立拠点保育所において、電話相談・来訪相談を各週1回(月～土)を実施</p> <p>公立保育所全所において、地域の未就学児を対象に遊びの場を提供(67所)</p> <p>実施箇所 19箇所 ○センター型 ・公立保育所 6所 ・ふくやま子育て応援センター ・私立保育所 3所 ○ひろば型 ・私立保育所 9所</p>	<p>○家庭児童相談員4名配置(ひとり親家庭自立支援員と兼務)</p> <p>○相談件数 340件</p>	
2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
(予算額:千円)	—	128,628	※11,614	
備考 (特記事項)			※母子相談事業[4-2-3]と合算	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-2-5	2-2-8	2-3-1
担当部課		まちづくり推進部青少年課	学校教育部指導課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		ぐりとぐら広場 (福山市自然研修センター ふくやまふれ愛ランド)	幼稚園での子育て支援事業	子育て支援サービスの ネットワークづくり
事業概要		就学前児童と保護者を対象に、 ふくやまふれ愛ランドで、コミュニ ティの場の提供や絵本の読み聞かせ、 保育士による親子でのふれあい遊 びなど子育て支援事業を行うもの	育児相談による子育て不安の解 消を図るとともに、保育所等関係機 関との関連による子育て支援事業 に関する情報提供を行う。	子育て支援サービスのネットワー クを構築し、様々な子育て支援事 業についてタイムリーな情報提供を 行うとともに、次世代育成支援対策 推進行動計画の実施状況の把握、 課題の抽出、今後のあり方等の検 討及びその他子育て支援関係事業 の調査研究を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	<p>遊具を使った自由遊び、夏には水遊び、さらに月1回保育士による「ふれ愛あそび」、ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」など、様々な利用者ニーズに応じた子育て支援事業を実施した。</p> <p>実施回数 173回 参加者数 2,715人</p>	<p>○育児相談による子育て不安の解消</p> <p>○公立幼稚園において、各園未就園児の会を計画し、幼児同士のふれあいや子育て相談を実施</p> <p>○すべての私立幼稚園(23園)において、未就園児に対する園庭開放や、在園児童とのふれあいの機会を提供し、工作・折り紙などのものづくりを実施。</p>	<p>○2005年度に設置した子育て支援ネットワーク委員会(福山市行政及び社会福祉協議会で構成)を4月と3月に開催し次世代育成支援対策推進行動計画の実施状況の把握、課題の抽出、今後のあり方等を検討した。</p> <p>○「あんしん子育て応援ガイド2009」を約33,000部作成し配布。</p> <p>○インターネットホームページ「子育てe-支援情報！」により子育て支援情報の提供。</p>
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		継続して実施するが、名称を「ふれ愛ひろば」に改める。	○継続して実施	<p>○あんしん子育て応援ガイドの発行</p> <p>○インターネットホームページの子育て支援情報(子育てe-支援情報!)の充実</p> <p>○次世代育成支援対策推進行動計画の実施状況の把握、課題の抽出、今後のあり方等の検討</p> <p>○定期的な子育て支援ネットワーク会議の開催</p>
(予算額:千円)		—	—	450
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-4-1	2-4-1	2-4-2
担当部課		経済部労政課	経済部労政課	まちづくり推進部男女共同参画センター
具体的な施策 (個別事業名)		女性雇用対策事業等	女性雇用対策事業等 (女性の再チャレンジ支援事業)	学習・啓発事業
事業概要		国、県、関係団体と連携し、勤労者及び事業主に対し、男女雇用機会均等や仕事と家庭の両立支援についての広報、啓発、研修、情報提供等を行うもの	出産・育児などで離職し、再就職を希望する女性などを支援するため、再就職準備セミナー(託児サービス付)や、仕事と家庭の両立支援企業を集めた合同就職面接会を国・県・関係団体と連携して開催するもの	「男女共同参画推進条例」及び「男女共同参画基本計画」の推進により、家庭生活、職業生活とその他の活動が両立できるまちづくりに取り組むもの。 子育てと仕事の両立支援に関しては、男女共同参画センターで実施する講座において啓発する。
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○広島労働局、広島県、(財)21世紀職業財団等の共催で、男女雇用機会均等セミナー(参加者53人)、両立支援対策セミナー(参加者40人)を開催 ○福山地方雇用対策協議会、福山人権啓発企業連絡会と連携し、情報提供及び両立支援セミナー(参加者158人)を開催 ○(財)福山勤労福祉・文化振興会に委託して女性雇用支援講座を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得講座 8講座、延受講者2,327人 ・パソコン講座 14講座、延受講者2,997人 ○出前講座 65回開催、参加者2,207人 ○若年求職者支援セミナー(参加者52人)の開催及び「ひろしま若者しごと館福山サテライト」(来所者数1,311人、相談件数1,010件)の県との共同実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○広島県、(財)21世紀職業財団等の共催で、再就職準備セミナーを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 参加者25人、託児8人 ・第2回 参加者19人 ○広島県、広島労働局、ハローワークと共催で、女性いきいき再就職フェア(合同就職面接会、職業相談会)を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 参加者22人、参加企業9社、相談会参加者9人 ・第2回 参加者71人、参加企業12社、相談会参加者23人 	<ul style="list-style-type: none"> ○再就職、就業準備セミナー「明日のためのライフプランニング！」(1月～2月、計4回) ○起業セミナー(4月～5月、3月、計5回) ○子育て応援セミナー(8月～9月、計7回) ○男女共同参画推進事業者表彰(6月)
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 <ul style="list-style-type: none"> ○就職、再就職準備セミナー(1月～3月、計4回) ○起業セミナー(4月～5月、計4回) ○子育て応援セミナー等(8月～10月、計10回) ○男女共同参画推進事業者表彰(6月)
(予算額:千円)		14,383	—	130
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-4-4	2-5-1	2-5-2
担当部課		社会教育部社会教育振興課	保健部健康推進課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		放課後児童クラブ事業	不妊治療扶助	乳幼児等医療費
事業概要		保護者の就労支援と児童の健全育成を図るため、授業終了後に、小学校の余裕教室やプレハブ教室などを利用して、適切な遊びや生活の場を提供するもの	不妊治療に係る費用の一部を助成するもの	乳幼児等が病院へ通院又は入院した際の保険医療費に係る自己負担分の一部を助成するもの
数値目標等		放課後児童クラブ開設か所数	—	—
	現状値	75か所(2004年度)	—	—
	目標値	75か所(2009年度)	—	—
09年度実施状況等	実績値	75か所	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○開設 75か所 <ul style="list-style-type: none"> ・公設公営 72か所 ・民設民営 3か所 ○開設時間 <ul style="list-style-type: none"> ・学期中 <ul style="list-style-type: none"> 月～金 13:30～18:00 土 8:30～13:45 ・長期休業中 <ul style="list-style-type: none"> 月～金 8:30～18:00 土 8:30～13:45 ○環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・71人以上のクラブの規模の適正化 9か所 (水呑, 深津, 坪生, 駅家西, 多治米, 千田, 春日, 戸手, 神辺) 	<ul style="list-style-type: none"> 指定医療機関で、体外受精または、顕微授精に要した費用に対して1回あたり15万円を限度として同一年度2回助成し、助成期間は通算5年 不妊治療助成件数 482件 	<ul style="list-style-type: none"> ○受給者数 24,217人 ○助成内容 [入院]0歳児から小学校6年生まで [通院]10歳児から就学前まで ○一部負担金 1医療機関につき1日500円の一部負担金有り(入院は月14日まで、通院は月4日まで)
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		<ul style="list-style-type: none"> ○開設 75か所 <ul style="list-style-type: none"> ・公設公営 72か所 ・民設民営 3か所 ○環境整備 プレハブ教室改築 2か所 	不妊治療助成者:470件	継続して実施
(予算額:千円)		533,793	70,500	708,240
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-3	2-5-4	2-5-5
担当部課		保健部保健予防課	保健部保健予防課	福祉部障がい福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		小児慢性特定疾患治療研究事業	未熟児養育医療費給付	自立支援医療(育成医療)費
事業概要		小児慢性特定疾患の保険医療費の自己負担分の一部を助成するもの	出生体重が2,000g以下または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための保険医療費の自己負担分の一部を助成するもの	身体上の障がいを有する児童等に対し、障がいを軽減改善するために要する保険医療費の自己負担分を助成するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○対象疾患 悪性疾患, 慢性腎疾患, 慢性呼吸器疾患, 慢性心疾患, 内分泌疾患, 膠原病, 糖尿病, 先天性代謝異常, 血友病等血液・免疫疾患, 神経・筋疾患, 慢性消化器疾患</p> <p>○対象者 18歳未満の児童(ただし, 満18歳の時点で継続治療の必要な人は20歳未満まで)</p> <p>○助成 小児慢性特定疾患の保険医療費の自己負担分の一部を助成するもの。 なお, 医療機関に支払う患者の月額負担限度額は, 生計中心者の所得税額等により決定される。</p> <p>助成件数 4,958件</p>	<p>出生体重が2,000g以下または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための保険医療費の自己負担分の一部を世帯の所得税額等に応じて助成した。</p> <p>助成件数 310件</p>	<p>対象となる障がいや疾患…肢体不自由(ペルテス病, 内反足など)視覚障がい(斜視など)聴覚・平衡機能障がい(小耳症など)音声・言語・そしゃく機能障がい(口蓋裂など)内臓障がい(心室中隔欠損症, ファロー四徴症, 慢性腎不全など)ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい</p> <p>本人負担は原則1割であるが, 所得の状況等に応じて負担上限月額が定められる。</p> <p>助成件数 631件</p>
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		4,804件	300件	助成件数 570件
(予算額:千円)		146,364	30,000	9,100
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-6	2-5-7	2-5-8
担当部課		児童部子育て支援課	福祉部障がい福祉課	保健部保健予防課
具体的な施策 (個別事業名)		ひとり親家庭等医療費	重度心身障がい者医療費	幼児インフルエンザ 予防接種費補助
事業概要		ひとり親家庭等の親又は児童が 病院へ通院又は入院した際の保険 医療費に係る自己負担分の一部を 助成するもの	重度の障がいのある障がい児 (者)が病院へ通院又は入院した際 の保険医療費に係る自己負担分か ら一部負担金(1日200円, 入院・通 院とも月4日まで)を差し引いた額を 助成するもの <small>※ただし65歳以上(療育⑧を除く)で後期高齢者医療 に加入していない者については,当該受給者が後期 高齢者医療の被保険者であると見なして算定した保 険診療の自己負担分を給付の対象とする。</small>	幼児インフルエンザ予防接種に 係る費用の一部を助成するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
2010年度計画	実施内容及び課題等	○受給者数 7,560人 ○対象年齢 18歳到達後初めての3月末まで の児童を現に扶養している配偶者 のない人とその児童 ○所得制限 本人及び生計を同一にする扶養 義務者が所得税非課税であること ○一部負担金 1医療機関につき1日500円の一 部負担金有り(入院・通院とも月4日 まで)	医療費助成の実施 受給者数 10,660人 ○65歳未満 4,607人 ○65歳以上 6,053人	期間内にインフルエンザ予防接 種を受けた幼児(1歳から就学前ま で)の保護者を対象に,予防接種に 要した費用に対して同一年度,一 人あたり3,000円を限度として補助 した。 補助件数 12,508件
		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 医療費助成の実施 受給者数 10,839人 ○65歳未満 4,842人 ○65歳以上 5,997人	【継続 ■ 廃止 □】 14,200件
(予算額:千円)		169,420	1,326,665	42,600
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-9	2-5-10	2-5-11
担当部課		児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	福祉部障がい福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		児童手当	児童扶養手当	特別児童扶養手当
事業概要		小学校修了前までの児童を養育している保護者に対し、手当を支給するもの	父母の離婚、父の死亡などにより、父のいない児童を養育している母又は養育者に対し手当を支給するもの	20歳未満の心身障がい児を監護する父母などに手当を支給するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09 年度 実施 状況 等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容 及び課題等		○受給者数 31,532人 児童数 51,136人 ○支給額(月額) 3歳未満 一律 10,000円 3歳以上 第1・2子 5,000円 " 第3子以降 10,000円	○受給者数 4,240人 ○支給額 全部支給 月41,720円 一部支給 月41,710円～9,850円	支給申請の受付、受給資格、手当額などの認定 ○受給者数 718人 ○支給額 1級 月 50,750円 2級 月 33,800円
	2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 2010年度から子ども手当制度創設 ・対象者:中学校修了前までの子どもを養育している人 ・支給額:子ども1人につき、月額13,000円	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 支給申請の受付、受給資格、手当額などの認定 ○受給者数 730人 ○支給額 1級 月 50,750円 2級 月 33,800円
(予算額:千円)		8,807,500	2,006,158	—
備考 (特記事項)		※2010年度予算は、子ども手当、児童手当の合計		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-12	2-5-13	2-5-14
担当部課		福祉部障がい福祉課	児童部子育て支援課	福祉部障がい福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		障がい児福祉手当	福山市遺児年金	福山市重症心身障がい者 福祉年金
事業概要		20歳未満の精神又は身体に重度の障がいをもつ児童に対し、手当を支給するもの	福山市に引き続き2年以上居住し、次のいずれかに該当する18歳未満の児童を養育する人に対し、年金を支給するもの ①父母のいない児童②父又は母のいない児童③その他これに準じる状態にある児童	身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を所持する者に対し年金を支給するもの(支給対象) 福山市に2年以上居住し、次のいずれかに該当する人 ①身体障がい者手帳1～3級②療育手帳A～B③精神障がい者保健福祉手帳1, 2級④障がい年金1, 2級の受給者等
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値		—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
09年度実施状況等	実施内容及び課題等	手当の支給 ○対象者数 278人 ○支給額 月14,380円	○受給者数 4,627人 (2009年12月期支払) 父母のいない児童 20人 父又は母のいない児童 4,607人 ○支給額 父母のいない児童 年 41,000円 父又は母のいない児童 年 22,000円	福祉年金の支給 ○対象者数(障がい児) 763人 ○支給額(障がい児) 年額 22,000円
	2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 手当の支給 ○対象者数 260人 ○支給額 月14,380円	【継続 □ 廃止 ■】 2010年6月1日制度廃止 2010年度は、年額の半分を支給。	【継続 ■ 廃止 □】 福祉年金の支給 ○対象者数(障がい児) 800人 ○支給額(障がい児) 年額 22,000円
(予算額:千円)		44,866	77,513	189,200
備考 (特記事項)			単市制度	※予算額は全体

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-15	2-5-16	2-5-17
担当部課		児童部庶務課	学校教育部学事課	学校教育部学事課
具体的な施策 (個別事業名)		保育所保育料の多子軽減	就園奨励費(幼稚園)	就学援護費
事業概要		同時に保育所等へ入所している 家庭の2人目の児童の保育料を半 額,3人目以降の児童の保育料を無 料にし保護者負担の軽減を図るも の	幼稚園に通園する児童の保護者 の経済的負担を軽減するため,保 育料の免除(公立幼稚園)または, 入園料・保育料の一部を補助(私 立幼稚園)するもの	経済的理由で就学に必要な費用 の支払いが困難な人へ援助するも の
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09 年度 実施 状況 等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	対象児童数 2,406人 (2009年4月1日現在) 同一世帯から保育所,幼稚園の ほかに障害児通園施設等に入所 又は児童デイサービスを利用して いる就学前児童も多子軽減の対象 に含める。	認定者 2,903人	認定者 6,016人
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		継続して実施	認定者見込み 2,767人	認定者見込み 5,145人
(予算額:千円)		—	253,968	321,289
備考 (特記事項)		「保育所保育料の3人目以降の無 料化」→「保育所保育料の多子軽 減」に2007年度から変更 ※国においても2009年度から3人 目以降の無料化		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-18	3-1-1	3-1-1
担当部課		児童部子育て支援課	学校教育部指導課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		母子寡婦福祉資金貸付金	確かな学力の向上	確かな学力の向上 (少人数指導推進支援事業)
事業概要		母子家庭の児童などが修学するために必要な学費などについて貸付を行うことにより、母子家庭等の福祉の向上を図るもの	子ども一人ひとりに応じた指導の充実、基礎基本の習得、個性を伸ばし、選択能力を向上させる取組みを進める	小学校31校、中学校19校に非常勤講師(少人数指導推進員)を配置し、国語、算数、数学、英語を基本に、基礎的な学力の定着を図るための少人数指導等の工夫改善に取り組む。
数値目標等		—	「基礎・基本定着状況調査」 県平均値以上の教科数	指定校では年間計画授業数の80%以上で少人数指導を実施
現状値		—	小学校:0科目/2科目(2008年度) 中学校:0科目/3科目(2008年度)	—
目標値		—	小学校:2科目/2科目(2011年度) 中学校:1科目/3科目(2011年度)	100%

09年度実施状況等	実績値	—	小学校:2科目/2科目 中学校:0科目/3科目	100%(50校)																																																																				
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】																																																																				
実施内容及び課題等	〔貸付状況〕	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">母子</td> <td rowspan="5">新規</td> <td>修学資金</td> <td>74</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>技能習得資金</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>転宅資金</td> <td>3</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>修業資金</td> <td>4</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>就学支度資金</td> <td>40</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td>122</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">継続</td> <td>修学資金</td> <td>103</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>技能習得資金</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>修業資金</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td>105</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">寡婦</td> <td>新規</td> <td>修学資金</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>修学資金</td> <td>2</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>230</td> <td>件</td> </tr> </table>	母子	新規	修学資金	74	件	技能習得資金	1	件	転宅資金	3	件	修業資金	4	件	就学支度資金	40	件	小計		122	件	継続	修学資金	103	件	技能習得資金	1	件	修業資金	1	件	小計		105	件	寡婦	新規	修学資金	1	件	継続	修学資金	2	件	計		230	件	<p>○授業改善シートにより具体的な改善策の実施</p> <p>○一人一人に応じたきめ細かな指導、評価規準や評価方法の工夫・改善</p> <p>○校内研修、公開研究会の積極的な実施</p> <p>○福山市研修センター教職員研修講座の改善・充実</p> <p>本市平均値 県平均値</p> <table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td>国</td> <td>75.5%</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>算</td> <td>79.9%</td> <td>79.8%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>国</td> <td>73.2%</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>数</td> <td>66.4%</td> <td>69.7%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>英</td> <td>59.2%</td> <td>65.2%</td> </tr> </table>	小学校	国	75.5%	75.0%		算	79.9%	79.8%	中学校	国	73.2%	75.0%		数	66.4%	69.7%		英	59.2%	65.2%	<p>○推進校における取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容や学習場面に応じた効果的な指導方法の工夫 ・児童生徒の実態に応じた習熟度別少人数指導の充実 ・補充発展的な学習内容の充実 ・形成的評価による指導の改善、充実(指導と評価の一体化) ・「思考力・表現力」を育てる指導法の研究
					母子	新規	修学資金	74	件																																																															
技能習得資金	1	件																																																																						
転宅資金	3	件																																																																						
修業資金	4	件																																																																						
就学支度資金	40	件																																																																						
小計		122	件																																																																					
継続	修学資金	103	件																																																																					
	技能習得資金	1	件																																																																					
	修業資金	1	件																																																																					
小計		105	件																																																																					
寡婦	新規	修学資金	1	件																																																																				
	継続	修学資金	2	件																																																																				
計		230	件																																																																					
小学校	国	75.5%	75.0%																																																																					
	算	79.9%	79.8%																																																																					
中学校	国	73.2%	75.0%																																																																					
	数	66.4%	69.7%																																																																					
	英	59.2%	65.2%																																																																					
2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】	○中学校学力向上対策事業の実施	【継続 ■ 廃止 □】	○小学校30校、中学校20校へ配置																																																																		
(予算額:千円)		※136,950	1,800	115,992																																																																				
備考 (特記事項)		※内、貸付金136,000千円																																																																						

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-1-1	3-1-1	3-1-2
担当部課		学校教育部指導課	学校教育部指導課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		確かな学力の向上 (学校評価推進事業)	確かな学力の向上 (キャリア教育推進事業)	英語教育の推進
事業概要		外部評価を活用して学校の自己評価の精度を高め、保護者、地域への説明責任を果たすとともに、本市学校教育の質的向上を図るもの	児童生徒にしっかりとした勤労観・職業観を身に付けさせるための「チャレンジ・ウィークふくやま」(地域で進める5日間の職場体験学習)を実施し、キャリア教育の推進を図るもの	聞く、話すことに重点を置いた実践的コミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際理解教育を推進するもの
数値目標等		—	—	中学校全クラスが、2週間に1回はALTと授業をする。
現状値		—	—	100%(2008年度)
目標値		—	—	100%(2009年度)

09年度実施状況等	実績値	—	—	100%
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価自己評価の充実 ・学校評価委員会による組織的な取組み ・「目標の連鎖」「選択と集中」による実効ある取組み ○外部評価の導入による客観的かつ総合的な評価の確立 ・外部評価グループの編成 ・外部評価連絡協議会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジウィークふくやま実施期間8月24日～8月28日 中学2年生 3,714人 ○受入れ先の確保と円滑な実施に向けての体制づくり ○学校及び受入れ事業所に配布する指導の手引の作成 ○推進委員会における各学校の取組みの交流 ○リーフレットや広報ふくやま等を通じての市民への啓発 ○支援会議における本年度の成果と課題の整理 ○報告会の開催 ○受入れ事業所を本市HPIに掲載 ○公的施設での受入れ拡大 ○課題意識や目標を明確にしての参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○英語指導助手(ALT)の小・中学校への派遣 ○幼稚園への派遣開始(20園へ各5回) ○英語教育の指導力向上のための研修を実施 	
2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
(予算額:千円)	○継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> ○実施予定日 ・8月23日～27日(5日間) ○実施形態 ・全市一斉実施 ○対象者 ・中学校2年生 	○継続して実施	
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-1-4 (3-4-1・3-5-3)	3-1-4 (3-4-1・3-5-3)	3-1-4 (3-4-1・3-5-3)
担当部課		学校教育部指導課	経済部農業振興課	経済部農業振興課
具体的な施策 (個別事業名)		豊かな心の育成	豊かな心の育成 (園芸センター農業体験)	豊かな心の育成 (園芸センター親子農業体験教室)
事業概要		豊かな体験活動をもとに、子どもの道徳性や自己指導能力を育成し、生涯にわたり、たくましく生きていくための健康・体力づくりを推進するもの	農業体験を通じて自然や農業に触れ合う場を提供し、児童生徒の豊かな情操を養い、健全な育成を図るもの	農業体験を通じて子どもたちの生きる力を養い、広く市民の農業への理解を深め、あわせて親子のコミュニケーションづくりに役立てるもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値		—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの自律を育成する指導体制の充実 ○「チャレンジウィークふくやま」の実施、ボランティア活動や乳幼児との交流体験などの社会体験活動、自然体験活動の充実 ○食事の摂取割合の向上と楽しい給食の時間の推進 ○子どもの心に響く道徳教育の実践、人権感覚を育む道徳教育の充実 ○道徳教育推進校を拠点とした学校間交流の推進 ○健康・体力づくりのための推進計画の作成・実施 ○体カテストの実施による子どもの体力の実態把握 	<ul style="list-style-type: none"> 金江小学校3年生25人を受入れ、花壇の草花苗の定植を行った。(6月26日メランポディウム等1000株) 	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜部門 5月2日にタマネギの栽培等の講習及び収穫を30組92人が参加した。 ○花卉部門 8月12日にキクの栽培等の講習及び収穫を8組22人が参加した。
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		<ul style="list-style-type: none"> ○継続実施と規律ある学校づくりの推進 ○要となる道徳の時間の充実 ○積極的生徒指導と問題行動への対応 	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜部門 5月1日にタマネギの栽培等の講習及び収穫体験を実施する。
(予算額:千円)		510	—	—
備考 (特記事項)			福山市園芸センター農業体験実施要領に基づき実施した。	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-1-5	3-1-7	3-1-9
担当部課		学校教育部指導課	学校教育部指導課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		不登校児童生徒への取組	就学前施設の再整備	北京市教育交流推進事業
事業概要		児童生徒一人ひとりが安心して生活できるよう、学校における教育相談体制の整備、いじめ・不登校対策の充実を図るもの	今後の児童数の推移、地域の実態、保護者のニーズに応じた幼稚園の整備を行うもの	本市と北京市教育委員会との間で教育交流を行うことにより、生徒が国際的視野や感覚を身に付けるとともに、生徒を指導する立場にある教職員が互いの国のことを知り合うことで、国際交流を図るもの
数値目標等		不登校児童生徒出現率	—	—
現状値		1.58%(2006年度)	—	—
目標値		1.17%(2010年度)	—	—
09年度実施状況等	実績値	1.44%	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】 ○研修センターの相談活動の充実 ○適応指導教室「かがやき」の運営 ○スクールカウンセリングプロジェクト事業の推進 ○校内教育相談体制の充実 ○不登校対策実践指定校事業の実施 ○スクールカウンセラー活用事業の実施 ○全児童生徒の定期的な個人面接の実施 ○小中連携の充実	【継続 ■ 新規 □】 ○就学施設全体での幼稚園の役割、集団保育機能を基本とした効率的な幼稚園運営を推進	【継続 ■ 新規 □】 ○本市の中・高校生22名、教職員12名が北京市の2中学校を訪問し交流 ○ふくやま学校祭合同報告・発表会で交流内容を報告 ○北京市からの訪問団の計画的な受入れ
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 ○継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 ○旭丘幼稚園休園	【継続 ■ 廃止 □】 ○生徒・教職員の相互訪問による交流を継続して実施
	(予算額:千円)	13,409	—	4,311
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-2-2 (2-2-7・3-6-1)	3-3-1 (3-5-2)	3-3-3
担当部課		まちづくり推進部生涯学習課	まちづくり推進部青少年課	社会教育部中央図書館 他()
具体的な施策 (個別事業名)		子育て支援交流事業の充実	自然研修センター事業 (ふくやまふれ愛ランド)	職場体験学習・インターン シップの受け入れ
事業概要		公民館やコミュニティセンター・館 において、親子のふれあいの場や 保護者同士の交流を図ることで、 子育ての悩み相談をするなど、地 域で互いに子育てをしていきっか けづくりをするもの	自然環境の中で宿泊研修、野外 活動、体験農業、遊びの指導等 を通じて、青少年の健全育成を図る もの	中高校生の就労体験学習の実 施
数値目標等		事業実施箇所数	—	
	現状値	全公民館で実施	—	
	目標値	全公民館で実施	—	

09 年度 実施 状況 等	実績値	全公民館(79館)で実施	—	
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 新規】
	実施内容 及び課題等	<p>○全公民館において、年間各館1 回以上実施している。</p> <p>○コミュニティセンター・館におい て、子育て交流事業を実施してい る。</p> <p>○核家族化が進み、子育ての悩み を抱える保護者に親子のふれあ いの場を提供することで、親同士の交 流と育児情報の交換、実技体験を 通じての育児ストレスの解消をは かり、お互いのコミュニケーションを 図った。</p> <p>【課題】 講座に参加できていない保護者 に対して参加の呼びかけ等の工夫 が必要である。地域の子育てサ ポーターの充実</p>	<p>宿泊研修、野外活動、体験農業、 遊びの指導等を通じた、多様な体 験活動の機会の提供等による青少 年の健全な育成の推進を図った。 また、青少年の活動拠点として、 積極的な受入れと活動を展開し た。</p> <p>宿泊利用者 26,231人 一日利用者 29,201人 開所日数 332日</p>	<p>市公共施設で職場体験学習・イン ターシップを受け入れた。(「チャレ ンジ・ウィークふくやま」による受け 入れを除く)</p> <p>・中央図書館 7中学校14人 2高校4人 ・松永図書館 4中学校6人 1高校2人 ・北部図書館 2中学校4人 1高校2人 ・東部図書館 4中学校5人 1高校2人 ・沼隈図書館 1中学校1人 ・新市図書館 2中学校3人 ・神辺図書館 3中学校3人 ・農業振興課 3中学校5人 ・光寿園 2中学校9人 ・美術館 1中学校1人 ・市民相談課 1中学校2人</p>
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 廃止】
		保護者が気軽に講座に参加できる ような日程設定や、参加への呼び かけなどを強化しつつ、引き続き実 施する。	<p>宿泊研修、野外活動、体験農業、遊び の指導等を通じた、多様な体験活動の 機会の提供等による青少年の健全な育 成の推進を図る。 青少年の活動拠点として、積極的な受 入れと活動を展開する。 また、キャンプ場に食事棟を整備し雨 天対応の課題解決を図るとともに、更 なる利便の向上を図り、自然研修センター 事業の充実に取り組む。</p>	継続して実施
(予算額:千円)		632	109,132	
備考 (特記事項)		中部ブロック社会教育センター、人 権推進課から生涯学習課へ移管		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-3-4 (3-5-7)	3-3-5	3-4-3 (3-5-5)
担当部課		まちづくり推進部生涯学習課	管理部スポーツ振興課	児童部保育課
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの居場所づくり事業 放課後子ども教室の推進	生涯スポーツの振興	世代間交流事業
事業概要		地域の協力を得て、子どもたちが 放課後等に安全・安心して過ごせる 居場所づくりを行うもの	各種大会の開催、地域への指導 者の派遣、指導者の養成、気軽に できるスポーツの普及、学校施設を 開放しての地域交流の推進を図る もの	保育所において老人会などと連 携して、世代間交流を行い、地域の 子育て機能の充実を図るもの
数値目標等		放課後子ども教室実施箇所数	—	—
現状値		22箇所(2004年度)	—	—
目標値		全学区で実施(2009年度)	—	—

09 年度 実施 状況 等	実績値	36箇所(36学区)	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容 及び課題等	<p>○36学区で実施</p> <p>○放課後等に小学校の図書室や 空き教室等を利用し、地域住民の 安全管理員の指導のもと、交流事 業などを実施し、安全・安心な居場 所づくりを実施するとともに、コー ディネーターを配し、広報紙として 「げんき情報局」を市内の保育所・ 幼稚園・小学校の全児童・生徒に 向けて毎月発行した。</p> <p>【課題】 活動を担う地域人材の確保・育成</p>	<p>○スポーツ教室等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Happyスポーツ塾 ・Jrスポーツ教室 ・スポーツデリバリーサービス ・ふくやまスポーツクラブ ・小学生体験講座 ・夏期スポーツ塾 ・競技力向上事業 ・競技人口拡大事業 <p>○各種大会行事の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場で遊ぼうDAY ・ローズアリーナフェアー ・わくわくヨット教室 ・ふくやまマラソン ・竹ヶ端運動公園水泳場無料開放 ・ふくやま体育の日まつり ・元気アップ親子セミナー ・冬季小学生わくわくスポーツクラ ブ 	<p>高齢者とのふれあい(伝承遊び・ 伝統行事の伝承)のなかで、核家 族では体験しにくい祖父母の温もり を体験するため実施</p> <p>職場体験学習の中学生を受け入 れ、保育所児童との交流を図る</p> <p>実施箇所数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 67箇所 ・私立保育所 54箇所 	
2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
(予算額:千円)	5,070	13,380	13,740	
備考 (特記事項)	中部ブロック社会教育センターから 生涯学習課へ移管			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-5-4	3-5-4	3-5-8
担当部課		学校教育部指導課	まちづくり推進部青少年課	社会教育部中央図書館
具体的な施策 (個別事業名)		児童生徒の健全育成の啓発、指導	子ども議会	読書活動推進に向けた整備
事業概要		学校教育ビジョンⅢに基づく豊かな心の育成をめざす取組み、性教育、関係機関との連携等により、子どもの健全育成の啓発、指導を行うもの	次代を担う小学校5・6年生及び中学生を対象に、市政に対する意見を募集し、子どもの視点で福山市のまちづくりについての提案・提言を行うことにより、将来の責任ある市民としての権利や義務を正しく理解し、社会参加へ向けた基礎教育の場とするもの	図書館の蔵書の充実及び読書に親しむ環境づくりを推進するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 □ 新規 ■】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○性の逸脱行為等に対する保健の教科をはじめ、特別活動や道徳教育等での指導 ○問題行動等について関係機関との連携、組織的な対応の推進 ○スクールカウンセラーと教師が一体となった家庭への支援 ○警察の少年サポートセンターとの積極的な連携 ○定期的、集中的な学校訪問による実態把握と現状分析、効果的な指導の実施 ○全児童生徒に対する学期1回の個人面接の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①市内に在籍する小学5・6年生及び中学生46名を「環境・教育・安心安全・福祉・協働のまちづくり」の5つのテーマに分け募集 ②8/7オリエンテーション、8/17、9/13、9/27事前学習(3回)、10/25リハーサル、10/31子ども議会開催 ③5つの委員会、各2問の質問・提案を作成 ④答弁者は、市長・教育長・代表質問に関係する局部長 ⑤-1経過は随時市HP掲載。子ども議会当日は市HPライブ放映と市民課ロビーでのTVモニター放映、市HPでの報告。また、子ども議員へはDVDを記念品として贈呈。 ⑤-2子ども議員からの提案のうち、可能なものから随時施策反映(二上りおどりDVDの学校配布等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本と出会うふれあい事業 市内の乳幼児健康相談会場など38回実施した。 ○あかちゃんといっしょのおはなし会 全図書館で毎月2回実施した。 ○おはなし会、ビデオ上映会などを全図書館で実施した。
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		<ul style="list-style-type: none"> ○継続して実施 ○学校教育ビジョンⅢ及び道徳教育・生徒指導リーフレットに基づく取組みの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度事業に加え、 ①事前学習時の宿泊研修 ②子ども議会での再質問時間の確保を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全図書館で、絵本と出会うふれあい事業、あかちゃんといっしょのおはなし会、ビデオ上映会などを実施する。
(予算額:千円)		—	146	—
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-5-8	3-5-9	3-5-10
担当部課		社会教育部中央図書館	環境啓発課	ふくやま芸術文化振興財団(美術館)
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの読書活動推進 計画策定事業	こどもエコクラブ事業	小・中・高校生までの特別展観覧の 無償化
事業概要		読書活動を通じて、言葉を学んだり、豊かな感性や想像力、表現力を養うため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」をふまえ、子どもが自主的に読書活動のできる環境整備を図るための施策の推進に関する本市の「子どもの読書活動推進計画」を策定するもの	こどもたちが地域において主体的に継続的な環境活動・学習を行う機会を提供し、支援するもの	美術館の特別展を小・中・高校生まで無料で観覧
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—

09 年度 実施 状況 等	実績値	—	—	5,481
	区分	【継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】	【継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 】
	実施内容 及び課題等	策定委員会・作業部会を開催し、「子どもの読書活動推進計画(素案)」を作成した。	クラブ数 5クラブ 会員数 230人 【実施内容】 ○磯の生き物調査 ○星空観察会 等 【課題】 ○クラブ数及び会員数の拡大 ○各クラブ間の交流の充実	指定管理事業の2特別展及び自主事業の3特別展、計5事業について、高校生以下の観覧料を無料とした。 今後の周知活動が課題。
2010年度計画		【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】 パブリックコメントを募集し、策定委員会を開催し、本市の「子どもの読書活動推進計画」を策定する。	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】 ○7クラブ300人程度 ○研修会、自然観察会開催予定	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】 継続して実施 特別展 ○指定管理事業 ①世界中で愛されるリンドグレーンの絵本 ②黄金美術 ○自主事業 ①トリック・アートの世界 ②国宝の名刀 ③福田平八郎と高山辰雄
(予算額:千円)		—	205	41,788
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-5-11	3-6-3	3-6-4
担当部課		市民部市民相談課	児童部子育て支援課 他(※)	福祉部福祉総務課
具体的な施策 (個別事業名)		マウイ高校生派遣事業	地域住民, 民間団体の 子育て力の育成と協働	地域全体で子育てを見守り, 支え合う活動の推進
事業概要		福山市内に在住の高校生をアメリカ合衆国ハワイ州マウイ郡に派遣し現地の高校生との交流やホームステイ体験, 「マウイカウンティフェア」への参加を通して視野を広め, 国際社会に適応できる人材を育成する。また, 福山市の代表として, 公式行事に参加し, 福山市とマウイ郡の更なる親善友好関係の促進に寄与するもの	地域子育て支援センターや子育てボランティアの養成等を通じた地域住民の子育て力の育成, 民間団体と市や関係機関等が実施する子育て支援事業の情報交換の推進を図るもの	民生委員児童委員との連携により, 地域全体で子育てを見守り, 支え合うネットワークづくりを推進するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】
実施内容及び課題等		<ul style="list-style-type: none"> ○福山市内に在住する高校生13名と引率者5名を派遣 ○「マウイカウンティフェア」の初日に実施されるパレードに参加し福山をPR ○マウイ郡における「福山の日」10月3日に郡長を表敬訪問 ○ホームステイ ○マウイ郡の高校生との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てボランティア養成にあたっては保護者の置かれている社会状況・親の意識の変化, 保育所の役割・支援の状況を支援活動を見学してもらいながら情報提供した。(1講座) ○子育て応援センターにおけるファミリー・サポート・センター事業や各種子育てサークルの充実, 子育てボランティアの養成等を通じて, 地域住民の子育て力の育成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員児童委員が子育てに関する情報提供や, 子どもに関する相談を受けたり, 支援を行った。 ○民生委員児童委員が子育てサークルや子ども会等の児童健全育成に関する活動に支援や参画を行った。 ○児童虐待に関して, 市や子ども家庭センターへ相談や通告を行った。
2010年度計画		【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】
		○福山市内に在住する高校生15名と引率者等をマウイ郡における「福山の日」10月3日を中心に派遣し, 「マウイカウンティフェア」の初日に実施されるパレードにも参加する。 ○ホームステイやマウイの高校を訪問により, 交流も行う。	引き続き, 子育てボランティア養成を推進する。 ボランティアとの連携を図り, 協働による子育て事業を推進する。	継続して実施
(予算額:千円)		3,270	—	82,858
備考 (特記事項)			(※)その他の関係部署 (保)総務課 保育課	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-1-1	4-1-1	4-1-3 (2-2-4)
担当部課		児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	保健部健康推進課
具体的な施策 (個別事業名)		児童虐待防止等ネットワーク 活動の推進	児童虐待防止事業 (オレンジリボンキャンペーン)	育児支援家庭訪問事業
事業概要		行政と関係機関・団体との間で構築したネットワークにより、情報の共有、連携を図る中で、児童虐待の未然防止、早期発見、効果的対応を行うもの	悲惨な児童虐待事件を契機に虐待の現状を広く知らせ、虐待を防止し、虐待を受けた子どもが幸福になれるようにとの願いが込められた「オレンジリボン」を「児童虐待防止」の象徴として広めるキャンペーンを推進するもの	育児支援が特に必要と判断した家庭に対し、保健師・助産師・保育士等がその居宅を訪問し、養育に関する指導、助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育ができるようにするもの
数値目標等		虐待していると思ったこと	—	—
現状値		就学前児童12.7% 小学校児童9.3%(2003年度)	—	—
目標値		減少(2009年度)	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	福山市児童虐待防止等ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)において、関係機関・団体が連携をして、児童虐待の防止、早期発見、早期対応に取り組んだ。 ○代表者会議(7月3日) ○実務者会議(6月9日) ○実務者研修会の開催(2月16日) ○ケース会議(49回) ○虐待通告 122件 児童虐待防止推進月間(11月)事業 ○広報ふくやまによる啓発 ○市民向けリーフレットの作成・配布 ○児童虐待防止啓発講演会の開催(11月5日) ○児童虐待防止啓発用懸垂幕の作成・懸垂(11月中懸垂) ○ふくやまこどもフェスティバル等における啓発展示	オレンジリボンキャンペーンの実施 啓発チラシ、ティッシュ、オレンジリボンを配布したほか、イベントにおいて啓発パネル展示、オレンジリボン作製講習会を実施した。 ○街頭啓発(11月1日) ○健康ふくやま21フェスティバル 2009(10月17日、18日) ○ふくやまこどもフェスティバル(11月3日) ○人・まち・ふくしフェスタ2009@ぬまくま・うつみ(11月8日) ○オレンジリボンを保育所、幼稚園、小学校及び市行政職員を対象に配付	2009年度育児支援家庭訪問実績 訪問実人数 29人 訪問件数 82件
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 ○引き続き児童虐待防止のための市民啓発に取り組むほか、ネットワーク関係者の研修を行う。 ○育児、栄養等の相談、子育て支援情報の提供により、虐待の未然防止に取り組む。	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	2010年度育児支援家庭訪問予定 600件
(予算額:千円)		※1,408	※1,408	6,001
備考 (特記事項)		※児童虐待防止事業[4-1-1]と合算 ☆2008年度実績値	※児童虐待防止等ネットワーク活動の推進[4-1-1]と合算	※「こんにちは赤ちゃん訪問事業」と連携

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-2-1	4-2-1	4-2-1
担当部課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)	ひとり親家庭自立支援事業	ひとり親家庭等自立支援事業 (ひとり親家庭等就業・自立支援セ ンター事業)	ひとり親家庭等自立支援事業 (母子自立支援プログラム策定事業)	
事業概要	ひとり親家庭の親が就労に有効な資格を取得するための経費の一部の助成、特定の資格を取得する期間に係る給付金を支給し、ひとり親家庭の自立を支援するもの	ひとり親家庭の母等に対し、家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じた就業相談の実施、就業に結びつきやすい就業支援講習、公共職業安定所と連携した就業情報の提供など一貫した就業支援サービスを提供するとともに養育費の取り決めなどの専門家による相談等を実施し、ひとり親家庭の生活の安定と児童福祉の増進を図るもの	児童扶養手当受給者の状況・ニーズに応じ、自立支援プログラムを策定し、きめ細かな自立・就労支援を実施するもの	
数値目標等	—	—	—	
現状値	—	—	—	
目標値	—	—	—	

09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○自立支援教育訓練給付金事業 就労に有効な資格を取得するための経費の一部を助成するもの 支給数 9件 ○高等技能訓練促進費事業 経済的自立に効果的な資格を取得するために2年以上修業する間の一定の期間について給付金を支給するもの 支給数 35件 ○入学支援修了一時金 2008年4月入学者から修学期間修了後に支給するもの 支給数 8件 	<ul style="list-style-type: none"> ○就業支援事業 2006年12月に無料職業紹介所の許可を受け、家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じた就業相談の実施、就業情報の提供等 相談件数102件 求職件数102件 求人件数124件 紹介件数121件 ○就業支援セミナー・講習会 就業経験の無い者、離職期間が長い者、転職を希望する者等を対象とした就業支援セミナー等の開催 ①セミナー4回 延べ43人 ②講習会12回 延べ126人 ○特別相談事業 養育費の取り決めや生活上の諸問題の解決のため、弁護士による専門相談の実施 2回 4人 ○事業委託先 財団法人福山市母子寡婦福祉連合会 	<ul style="list-style-type: none"> 就業・自立支援センター内において母子自立支援プログラム策定員が、児童扶養手当受給者を対象に自立支援プログラムを策定した。 ○策定数 50件 ○事業委託先 (財)福山市母子寡婦福祉連合会 	
2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
	継続して実施	継続して実施	継続して実施	
(予算額:千円)	54,113	2,437	1,661	
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-2-2	4-2-3	4-2-4
担当部課		児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		母子保護の実施	母子相談事業	ひとり親家庭への経済的支援
事業概要		配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を母子生活支援施設に入所させ保護を行うとともに自立を支援するもの	家庭児童相談室における相談を充実し、母子家庭の自立支援を推進するもの	ひとり親家庭への経済的支援を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—

09年度実施状況等	実績値	—	—	—																	
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】																	
	実施内容及び課題等	<p>○母子生活支援施設入所状況 (2010年3月末)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入所世帯</th> <th>入所人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久松寮</td> <td>6</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>松永寮</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>9</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>※市外委託</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>○久松寮及び松永寮の入所者数は横ばい傾向にある。</p> <p>○ODV被害を被った母子世帯については、市外施設への措置委託を行っている。(※)</p>		入所世帯	入所人数	久松寮	6	13	松永寮	3	9	小計	9	22	※市外委託	4	9	合計	13	31	<p>○ひとり親家庭自立支援員4名配置(家庭児童相談員と兼務)</p> <p>○母子世帯の自立支援に向けた相談・助言を行った。</p> <p>○相談件数 3,633件 (2008年度/3,536件) (母子寡婦福祉資金の貸付・償還相談を含む)</p>
	入所世帯	入所人数																			
久松寮	6	13																			
松永寮	3	9																			
小計	9	22																			
※市外委託	4	9																			
合計	13	31																			
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】																	
		継続して実施	就業・自立支援センター等関係機関と連携し、自立支援を推進する。	<p>○児童扶養手当</p> <p>○ひとり親家庭等医療費助成</p> <p>○福山市遺児年金</p> <p>○母子及び寡婦福祉資金貸付金</p>																	
(予算額:千円)		※69,697	2-2-3に含む	—																	
備考 (特記事項)		※市外施設への措置委託料を含む。 (広域措置委託料21,150千円)																			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-3-1	4-3-1	4-3-3
担当部課		学校教育部指導課	学校教育部指導課	児童部保育課
具体的な施策 (個別事業名)		障害児の教育	障害児の教育 (特別支援教育体制推進事業)	障がい児保育
事業概要		障害のある幼児児童生徒の教育的ニーズを把握し、必要かつ適正な個に応じた教育を推進する。	通常学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒への指導支援を、学校体制として組織的に進める。	家庭において保育に欠ける障がい児を受け入れ、保育の保障を行うもの
数値目標等		—	—	—
	現状値	—	—	—
	目標値	—	—	—

09 年度 実施 状況 等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の実態や就学前施設での状況、こども家庭センター、医療機関等と連携した総合的な判断による就学指導 ○特別支援学級、通級指導教室での個に応じた指導の実施 ○介助員、障害児指導員の配置 ○発達障害のある児童生徒への理解と対応について教職員の資質向上のための研修実施 ○校内特別支援教育推進体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内委員会の設置 ○特別支援教育コーディネーターの指名 ○学校支援員の配置(4月) ○特別支援教育コーディネーター研修の実施(年3回) ○学校支援員の研修実施 ○福山市巡回相談事業の実施 ○大学生による特別支援教育サポーター事業の実施 <p>○個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成</p> <p>○校内体制での特別支援教育の推進</p>	<p>集団保育可能な希望児童について実施</p> <p>2009年度手帳取得児童 50人 その他課題のある児童 約1,368人 入所(2010.2現在)</p>
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級、通級指導教室の設置 ○教育内容の充実 ○介助員、障害児指導員の配置 ○学校体制による特別支援教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制の機能化による特別支援教育の推進 ○巡回相談を活用した特別支援教育に係る校内研修の充実 ○小中学校35校に学校支援員の配置 ○小中学校10校に学習補助員の配置 	<p>集団保育可能な希望児童について実施</p>
	(予算額:千円)	243,467	87,998	43,633
	備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-3-4	4-3-5	4-3-6
担当部課		児童部保育課 (教)学校教育指導課	保健部健康推進課	福祉部障がい福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		ことばの相談室	療育相談・療育支援システム	障がい福祉サービス等の充実
事業概要		言語の発達に課題がある児童を 専門的に指導援助し、その軽減、 克服を図るもの	疾病や障がいを早期に発見し、 適切な支援が行える体制の整備を 行うもの	障がいのある児童への早期療育 や居宅サービスの支援を行うこと で、児童の発達を支援するとともに 保護者の負担を軽減するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】 発音等について保育所、幼稚園 で専門的な指導・支援を実施 ○実施箇所 保育所 4所 幼稚園 4園 ○利用人数(2010.3現在) 保育所 619人(延回数 3,373) 幼稚園 668人(延回数4,526) 【課題】 ○件数の増加や保護者の就労によ り、相談日の偏りがみられ回数 の確保が困難になりつつある ○ことばのみの課題は少なく、発達 全般の課題・保護者支援の比重が 高くなっている	【継続 ■ 新規 □】 保健事業実施課(健康推進課・松 永保健福祉課・北部保健福祉課・ 東部保健福祉課・神辺保健福祉 課・沼隈支所保健福祉担当)にお いて、毎月実施している。 スタッフは心理相談員・保育士・ 保健師である。 実施回数 144回 【課題】 療育相談に参加する必要がある にもかかわらず参加しない児・保護 者に対して、訪問等で勧奨してい るが、全員参加に至っていない。	【継続 ■ 新規 □】 障がい児に障害者自立支援法に よる次のサービスを提供 ○居宅介護 41人 ○行動援護 20人 ○児童デイサービス 292人 ○短期入所 34人 ○移動支援 66人 ○日中一時支援154人 (2010年3月利用分の実人数)
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施 実施箇所 保育所 4所 幼稚園 4園 福山市全体での有効な利用がで きるよう、保幼ことば相談室の交流 を実施する。	【継続 ■ 廃止 □】 未参加の児・保護者に対して、小児 総合相談(精神面)への利用勧奨 する等により適切な支援を行う。	【継続 ■ 新規 □】
	(予算額:千円)	—	2,504	4,742,520
備考 (特記事項)				居宅介護事業費、施設介護事業 費、移動支援事業費、日中一時支 援事業費の合計

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-3-6	4-3-7	4-3-8
担当部課		福祉部障がい福祉課	福祉部障がい福祉課	福祉部福山すこやかセンター
具体的な施策 (個別事業名)		障がい福祉サービス等の充実 (障がい児通園施設利用者負担 軽減事業)	重症心身障がい児(者)通園事業	水中活動モデル講座
事業概要		障がいのある児童への早期療 育を進めるため保護者の負担を 軽減する 障害者自立支援法の施行に伴 い児童福祉法が改正され障がい 児通園施設を利用する保護者の 負担が増した。このため、市独 自に障がい児通園施設を利用す る保護者が監護する児童の食事 負担を軽減するもの	在宅重症心身障がい児(者)対 し、通園により、家庭、地域で主 体的に暮らしていくための支援を行 い、豊かな生活の実現をめざす。 福祉と医療の専門スタッフが、家庭 や地域における日常生活支援、健 康増進支援、さらには地域の関係 機関との連携を深める支援を行うもの	福山すこやかセンター水浴訓練 室において、医師会と連携し、障が い児(者)を対象とした水中活動の 指導者の育成を図り、障がい状況 別指導メニューの確立を行うもの
数値目標等			—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値			—	—
区分		【 継続 新規 】	【 継続 ■ 新規 □ 】	【 継続 ■ 新規 □ 】
09 年度 実施 状況 等	実施内容 及び課題等	○食費補助 障がい児通園施設利用者の食事負担 の軽減に要する費用として、法人へ補 助金を交付する。国制度による食費加 算を受けられない者のうち、低所得者 は1食160円、その他は1食420円を算定 5施設 48人 ○併行通園等軽減 (併行通園軽減)障がい児通園施設・ 児童デイと保育所・幼稚園を併せて利 用する場合に、障がい児通園施設・児 童デイの利用者負担相当額を助成す る。 (多子軽減)障がい児通園施設・児童 デイを利用している児童の兄弟等が保 育所・幼稚園を利用している場合に、障 がい児通園施設・児童デイの利用者負 担を軽減する。 10施設 148人	在宅の心身障がい児(者)に通園 により療育支援を行う。広島県立福 山若園(重症心身障害児(者)通園 施設)で実施 登録者数 18人	○オープン参加型講座(5回) 講義、実技指導、ヘルパー研修 ○オープン型参加型講座修了者のた めのフォローアップ研修(1回) ○育成された指導者による実技指 導(10団体 30回) ○ボランティア養成講座(1回) ○実技指導マニュアル作成(2010 年度完成予定) 【課題】 ○グループリーダーの育成 ○ハロウィック水泳法講習会修了 者の活動支援
2010年度計画		【 継続 廃止 】 継続して実施	【 継続 ■ 廃止 □ 】 継続して実施 昨年と同様 開設日 293日 登録人数 18人	【 継続 ■ 廃止 □ 】 ○水中活動モデル講座(5回) ○専門講師による実技指導 ○講座修了者のフォローアップ研 修 ○実技指導マニュアル作成 ○ボランティア養成講座実施
(予算額:千円)		3,486	16,407	1,989
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4 - 3 - 9	4 - 3 - 10	5-1-1
担当部課		福祉部障がい福祉課	福祉部障がい福祉課	人権推進部人権推進課
具体的な施策 (個別事業名)		福山市障がい者等相談支援事業 (障がい者総合相談室・子ども 発達相談室)	福山市障がい児等療育支援事業	ユニバーサルデザインの推進
事業概要		福山市指定相談支援事業所2 事業所と、福山すこやかセン ター障がい者総合相談室・子ど も発達相談室において、児童に 関する支援を実施している。	在宅の重症心身障がい児 (者)、知的障がい児(者)、 身体障がい児(者)のライフス テージに応じた地域での生活を 支援するため、障がい児(者) 施設等の有する機能を活用した 療育訓練等を実施している。	年齢、性別、国籍、障がいの有無 等に関らず、すべての人が快適な 暮らしができる社会をめざし、総合 的かつ効果的にユニバーサルデザ インを推進するもの
数値目標等				—
	現状値			—
	目標値			—

09 年度 実施 状況 等	実績値			—
	区分	【 継続 新規 】	【 継続 新規 】	【 継続 ■ 新規 □ 】
	実施内容 及び課題等	実施内容 ・福山すこやかセンター (障がい者総合相談室・子ども発達相談 室) 2名の相談支援員により、火曜日・ 木曜日に定例相談を行っている。 相談件数 676件 ・2法人で実施	実施内容 市内3事業所で、訪問療育(個 別・集団)外来療育(個別・集団)施 設支援一般指導を行う 相談件数 8,128件	ユニバーサルデザインの視点に 立ち、職員の理解や接遇等心のユ ニバーサルデザインの充実が図ら れてきた。また、施設面においても ユニバーサルデザインの考え方を 取り入れた整備がなされ、市民の 利便性の向上・安全確保に資して いる。 【課題】 まだ市民に理解されていない面も あり、引続き啓発活動による市民 意識の高揚を図っていく必要があ る。
2010年度計画		【 継続 廃止 】 継続して実施	【 継続 廃止 】 継続して実施	【 継続 ■ 廃止 □ 】 イベント等でのパネル展示や各種 研修会での啓発や資料を活用して の学習など、さまざまな機会を通し 周知に努める。
(予算額:千円)				—
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-1-1	5-1-1	5-1-1
担当部課		都市部公園緑地課	都市部公園緑地課	都市部公園緑地課
具体的な施策 (個別事業名)		ユニバーサルデザインの推進	ユニバーサルデザインの推進	都市公園バリアフリー化整備事業
事業概要		公園出入口車止め改修	街路樹安全対策事業	高齢者から乳幼児まで誰もが安心・安全に利用できるよう、既設公園の園路や便所についてバリアフリーに配慮した整備を行うとともに老朽化した施設の改修を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09 年度 実施 状況 等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】 公園出入口車止め改修 2箇所	【継続 ■ 新規 □】 街路樹等により、歩行者等の通行に支障をきたしている箇所について、支障の状況に応じ、維持補修を計画的に推進し、歩行者等の安全を確保する。9区域	【継続 □ 新規 ■】 ばら公園整備 園路改修
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 公園出入口車止め改修 2箇所	【継続 □ 廃止 ■】	【継続 ■ 廃止 □】 ・春日池公園 園路改修
	(予算額:千円)	600	—	20,000
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-1-2	5-2-1	5-2-1
担当部課		市民部生活安全推進課	市民部生活安全推進課	市民部生活安全推進課
具体的な施策 (個別事業名)		生活安全モデル地域の指定	子どもの安全確保 (生活安全パトロール車による 子ども見守り事業)	子どもの安全確保 (地域青色防犯パトロール実施 団体支援事業)
事業概要		生活安全モデル地域を指定し、住民参加のもと、犯罪のない安心して子育てができる安全なまちづくりを地域ぐるみで推進するもの	公用車両に青色回転灯及び放送設備を装備し、公務連絡経路等において、防犯・交通安全等の街頭啓発を実施するほか、不審者情報に対する対応など、子どもの見守り活動を行うもの	子どもの見守りなど地域における自主防犯パトロールの充実にむけ、地域青色防犯パトロール実施団体に対し、パトロール車両に装備する青色回転灯、放送設備等を貸与するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>モデル地域に指定され、住民参加のもと、安心して安全に暮らせる地域づくりを推進する地域に、年額10万円×2年間を助成</p> <p>○継続3地域(旭学区、山南学区、中条学区)2年目</p> <p>○新規3地域(坪生学区、松永学区、神辺学区)1年目</p> <p>【課題等】 モデル地域指定期間終了後も、継続した活動を展開する学区が多いが、活動に対する支援を継続できない。</p>	<p>公務連絡車両等16台を白黒に塗装し、青色回転灯及び放送設備等を装備した生活安全パトロール車による、子どもの見守り、交通安全啓発及び防犯啓発活動を実施した。</p> <p>また、公務連絡中の活動に加え、下校時における通学路や危険箇所のパトロール、「不審者情報」に基づく重点巡回パトロールを実施した。</p>	<p>申請があった8学区に青色回転灯等を貸与し、子どもの見守りなど地域青色防犯パトロール活動が実施されている。</p> <p>実施学区(8学区11台) (幕山、長浜、久松台、坪生、東村、明王台、山南、網引)</p>
2010年度計画	区分	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
	実施内容及び課題等	<p>○継続3地域(坪生学区、松永学区、神辺学区)2年目</p> <p>○新規3地域</p>	生活安全パトロール車(16台)による子ども見守り活動等を実施	地域青色防犯パトロールを予定する実施団体を支援し、青色回転灯などを貸与する
(予算額:千円)		600	—	—
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-1	5-2-1	5-2-1
担当部課		まちづくり推進部協働のまちづくり課	児童部保育課	児童部庶務課 他(※)
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの安全確保	子どもの安全確保	子どもの安全確保 (保育所、幼稚園、放課後児童クラブへの緊急通報システム整備)
事業概要		初年度購入の情報提供用ファックスを、必要に応じて各学(地)区自治会(町内会)連合会長宅へ貸与している 地域における安全確保のための注意や対策が必要と思われる不審者情報・災害情報等を提供することにより、地域における子どもや市民の安全確保体制を支援するもの	保育所、幼稚園、学校、家庭、地域が一体となった危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めるもの	保育所、幼稚園、放課後児童クラブにおける不審者の侵入や事故などの有事に備えて、園児、児童の安全を確保するため、保育所に緊急通報システム(注)を整備し、安全対策の態勢強化を図るもの (注)緊急時に県警本部総合指令室に自動通報し、発信元を直接確認でき、相互に通話が可能
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等	情報提供用ファックスを持っていない各学(地)区自治会(町内会)連合会長宅へ貸与し、地域における安全確保のための注意や対策が必要と思われる不審者情報・災害情報等を提供することにより、地域における子どもや市民の安全確保体制を支援した。 【課題】 全学(地)区自治会(町内会)連合会長宅に設置していないため、引き続き設置するように取り組む必要がある。	○「福山市保育カリキュラム」を基盤に日常保育で、職員の意識向上と実働ができるよう取り組んだ 不審者侵入対応訓練 ・実施回数 月1回 6所 年1回 3所 年2~4回 48所 年4回以上 13所 ○「こども安心安全ガイド」を活用し、児童・保護者の安全意識の向上をはかった ・活用回数 1回 9所 2回 27所 3回 21所 4回 10所 ・活用内容 懇談、読み聞かせ 実地指導、講演など	整備済施設 ○保育所 市立67施設 私立54施設 ○幼稚園 市立20施設 私立21施設 ○放課後児童クラブ 75施設	
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		前年度に引き続き不審者情報や災害情報の提供を実施する。	カリキュラムやガイドを活用するなかで、継続して実施	市立の保育所・幼稚園及び放課後児童クラブの緊急通報システム維持管理 ・保育所 市立65施設 私立54施設 ・幼稚園 市立19施設 私立21施設 ・放課後児童クラブ 75施設
(予算額:千円)		250	—	1,769
備考 (特記事項)		機構改革により、部名の変更あり		※その他の関係部署 (教)学校教育部指導課 (教)社会教育部社会教育振興課

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-1	5-2-1	5-2-1
担当部課		学校教育部指導課	学校教育部指導課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの安全確保	子どもの安全確保 (児童生徒安全確保対策)	子どもの安全確保 (通学時安全確保対策)
事業概要		保育所、幼稚園、学校、家庭、地域が一体となった危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めるもの	不審者情報を受信希望者(保護者、教育関係団体及び地域の各種団体)に、携帯電話等のメール機能を利用したメール配信により、情報提供し、園児・児童生徒の安全確保を図る。	小学校新入生に防犯ブザー・ランドセル用防犯ブザーストラップ及びランドセルシールを配布するもの 防犯ブザー配布時に、取扱いについて指導し、児童が危険から自分を守る危険回避能力の育成を図る。
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理マニュアルによる安全性の確保 ○安全確保のための保育所、幼稚園、学校、家庭、地域の連携の強化 ○小学校の緊急通報システムを活用した緊急時対応訓練を実施 ○新入学児童へ防犯ブザーを配布 ○スクールサポートボランティア事業を実施 ○児童生徒による地域安全マップ作成の取組みを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員会で把握した不審者情報をメールで配信 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯ブザー 4,900個 ○ ランドセル用防犯ブザーストラップ 4,900本 ○ ランドセルシール 17,000枚 <p>※対象は2010年(平成22年)4月入学児童</p>
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		○継続して実施	○継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯ブザー 5,000個 ○ ランドセル用防犯ブザーストラップ 5,000本 ○ ランドセルシール 5,000枚 <p>※対象は2011年(平成23年)4月入学予定児童</p>
(予算額:千円)		—	3,130	2,075
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-1	5-2-1	5-2-1
担当部課		まちづくり推進部青少年課	まちづくり推進部青少年課	まちづくり推進部青少年課
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの安全確保	子どもの安全確保 (通学路沿い公共施設 安全対策事業)	子どもの安全確保 (地域安全マップ普及推進事業)
事業概要		保育所・幼稚園・学校・家庭・地域 が一体となった危機管理体制を確 立し、子どもの安全確保に努めるも の	通学路沿いの公共施設に防犯カ メラシステムを設置し、通学途中の 児童等の防犯を図るもの	「地域安全マップセミナー」を開催 し、指導者を養成するもの また、地域安全マップ作成用品・ 教材ビデオの貸出しや指導者を派 遣し、地域におけるマップ作成を推 進するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09 年度 実施 状況 等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	各学区の青少年補導員協議会・ まちづくり推進委員会の構成団体 や地域住民と連携を図りながら、登 下校時の見守りや、不審者情報の 共有化を図るとともに、非行防止・ 環境浄化を中心とした補導活動な ど、地域におけるパトロールを実施 した。	通学路沿いの公共施設3か所に、 防犯カメラシステム(防犯灯・カメ ラ・緊急ボタンの3点セット)を設 置し、児童・生徒等の安全確保とと もに、地域の安全対策を図った。 2009年度設置場所 ・南学区 宮の小路公園 松浜町1丁目北交差点南三叉路 ・神村学区 国道2号赤坂バイパス高架下神 村1号ボックス	○地域における犯罪を未然に防止 するため、市内全学区を対象に、 「地域安全マップ作成セミナー」を 開催した。 9月5日 参加者 12人 ○「地域安全マップ作成用品・教材 ビデオ」の貸出し・指導者の派遣を 行い、地域における安全マップ作 成を推進した。 派遣 2回、グッズ貸出7回
	2010年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 地域における子どもの安全確保 のため、関係機関・団体や地域住 民に対して、先進的な取組事例な どを情報提供するとともに、広く市 民に周知を図り、子どもの安心・安 全や地域防犯に対する意識の高揚 に取り組む。また、関係機関・団体 等や関係部署と連携を図りながら、 これまでの事業を継続しながら、さ らに充実・強化する。	【継続 ■ 廃止 □】 2006～2009年度実施分(12台)に 加え、2010年度も新たに防犯カメ ラシステムを設置することにより、児 童・生徒等の安全確保とともに、地 域の安全対策をさらに強化する。	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施。
	(予算額:千円)	2,464	2,598	—
	備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-2	5-2-3	5-3-1
担当部課		まちづくり推進部青少年課	まちづくり推進部青少年課	まちづくり推進部青少年課
具体的な施策 (個別事業名)		非行防止活動の推進	「こども110番の家」推進事業	社会環境浄化活動の推進
事業概要		関係機関・団体等との連携強化による非行防止の推進を図るもの	子どもを犯罪等の被害から守るため、市内全学区に「こども110番の家」の活動を実施し、地域の住民と連携して、子どもを被害から守る活動の支援を行うもの	行政、関係機関、関係団体等が連携を強化する中で、家庭、学校、地域が一体となって、青少年の健全育成に取り組むもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	関係機関・団体等に対し、情報提供を実施するとともに、連携強化を図る中で活動支援を実施した。 また、青少年補導員協議会や中央少年補導員協議会等を対象とした会議・研修会を実施した。	○地域での活動に対する支援の推進を図るため「青少年センターだより」を発行し、学区青少年補導員と110番の家に配布し、情報の共有化と運動の進展を図った。 協力軒数6,000軒(2010年1月末) ○自主的に「こども110番事業」に取り組んでいる市内の民間事業者等と「こども110番事業ネットワーク会議」を開催し、情報の共有化・啓発活動に努めた。安心・安全ポスター作製。 ○ばら祭等イベントでパネル展示等ブース出展を行い、市民の安全意識の高揚に努めた。 ○各学区110番の家、110番事業所の実態調査実施	少年社会環境浄化モニターによる、図書類販売店及びたばこ自動販売機の実態調査を実施した。 また、関係機関・団体等と連携する中で、白ポストの改修、娯楽施設等への協力依頼、自販機・図書類販売者への立入調査等、青少年を取り巻く社会環境の浄化諸事業を実施した。
2010年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施。	【継続 ■ 廃止 □】 「こども110番の家」をさらに拡充強化を図る。 継続して啓発活動を実施。(イベント等での啓発活動、情報紙の発行)	【継続 ■ 廃止 □】 前年度の実施内容をさらに充実・強化し、環境浄化に努める。
(予算額:千円)		5-2-1に含む	24	5-2-1に含む
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-4-1	5-4-2	5-4-3
担当部課		市民部生活安全推進課	市民部生活安全推進課	市民部生活安全推進課
具体的な施策 (個別事業名)		交通安全教室	チャイルドシート着用の啓発	自転車利用者対策事業
事業概要		小学校の入学児童や保育所・幼稚園の入所(園)児童を対象にした、交通公園等での参加・体験・実践型の交通安全教室や、交通安全教育専門員の派遣による移動交通安全教室、「交通ファミリーランド」を開催し、交通安全意識の普及啓発を行うもの	乳幼児の安全確保のため、チャイルドシートの正しい着用の徹底について啓発を行うもの	安心して安全に暮らせる都市づくりに向け、自転車利用者、特に中学生、高校生等を対象に、自転車の交通事故と盗難の防止を図るため、所有者、利用者としての自覚と責任を持った管理と利用を促すことを目的に、関係機関・団体との連携により、自転車所有者、利用者への指導・啓発活動を推進するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
09年度実施状況等	実績値	—	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
2010年度計画	実施内容及び課題等	交通安全教育専門員(5名)による交通安全教室の開催 ○教室開催数 415回 ○参加者数 延べ54,616人 【課題等】 中学生や高齢者を対象とした交通安全教室をどう増やしていくか。	交通安全運動期間中及び各種イベント開催時に啓発チラシを配布し、シートベルト及びチャイルドシートの正しい着用の徹底を啓発した。	街頭指導・啓発活動は市内全域において、特に自転車利用者の多い場所や盗難の多い場所を選択し、関係機関・団体等と協議するなかで実施する。 市内10ヶ所×4回実施 【課題等】 啓発チラシだけでは効果が少ないため、交通安全、防犯用グッズを配布、取付けすることで自転車利用者の意識を変え、周辺の人たちへも広げていく効果を狙っているが、十分な対応が出来ない。
		【継続 ■ 廃止 □】 交通安全教室 ○教室開催数 約460回 約57,000人	【継続 ■ 廃止 □】 四季の交通安全運動や各種イベント等において、シートベルト及びチャイルドシートの正しい着用の徹底を広報・啓発する。	【継続 ■ 廃止 □】 国庫補助事業 市内10ヶ所×5回実施予定
(予算額:千円)		10,444	—	3,000
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業
担当部課	
具体的な施策 (個別事業名)	
事業概要	
数値目標等	
	現状値
	目標値
09 年度 実 施 状 況 等	実績値
	区 分
実施内容 及び課題等	
2010年度計画	
(予算額:千円)	
備 考 (特記事項)	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業
担当部課	
具体的な施策 (個別事業名)	
事業概要	
数値目標等	
	現状値
	目標値
09 年度 実 施 状 況 等	実績値
	区 分
実施内容 及び課題等	
2010年度計画	
(予算額:千円)	
備 考 (特記事項)	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

		本市平均値	県平均値
小学校	国	75.5%	75.0%
	算	79.9%	79.8%
中学校	国	73.2%	75.0%
	数	66.4%	69.7%
	英	59.2%	65.2%

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における 具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

	現状値	2009年度	目標値
6ヶ月までにBCG予防接種済みの児童	データなし	98.2%	90%以上 (2012年度)
1.6歳までに麻疹予防接種済みの児童	70% (2001年度)	91.5%	90%以上 (2012年度)

2010年度(平成22年度)
新 規 事 業

【新規事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	1 - 4 - 2	2 - 5 - 17	2 - 5 - 18
担当部課		保健部総務課	学校教育部学事課	学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		小児救急に関する啓発	特別支援教育就学奨励事業	情緒・聴覚・言語等障がい児保 護者付添交通費補助事業
事業概要		<p>救急医療の円滑な運営のため、市民への正しい救急医療のあり方を啓発します。</p> <p>○軽症患者の二次救急病院の安易な利用などにより、医師の過重な勤務や、重症患者への対応が課題となっていることから、市広報やテレビ、ラジオなどを通して正しい受診方法について啓発を行っています。</p> <p>○福山市の救急医療の現状などの周知を図るため、救急医療シンポジウムを開催するとともに、救命救急講習を実施しました。</p> <p>○2009年度(平成21年度)においては、啓発パンフレット「救急現場はピンチです！」を作成し各世帯に配布するとともに、啓発ポスターを作成し医療機関や公共機関などに掲示しました。</p>	<p>市立小中学校の特別支援学級へ就学するために必要な経費の一部を援助します。</p> <p>○対象者は、市立の小中学校に設置されている特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者で、所得に応じ、就学に必要な経費の一部を援助しています。</p> <p>○援助の内容は、学校給食費、学用品費、修学旅行費、入学準備費などの費用の一部です。</p>	<p>通園・通学に付添いが必要な児童などの保護者に対し、交通費の一部を補助します。</p> <p>対象者は、市立の幼稚園及び小中学校に設置されている特別支援学級などに就学する幼児・児童・生徒の保護者で、通園・通学に付添いが必要な場合、保護者の交通費の一部を補助しています。</p>
数値目標等				
現状値				
目標値				
2010年度計画		引き続き、啓発に努めるとともに、県、医師会、消防局などと連携し救急医療シンポジウムや救命救急講習を実施します。	引き続き実施します。	引き続き実施します。
(予算額:千円)			15,006	1,487
備考 (特記事項)		救急医療シンポジウム・救命救急講習については福山市・福山市医師会・福山地区消防組合が主催し、福山府中地域保健対策協議会が後援している。		

2010年度(平成22年度)
新 規 事 業

【新規事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	3 - 3 - 5	3 - 3 - 6
担当部課	経済部商工課	企画部大学設置準備室	
具体的な施策 (個別事業名)	ものづくり啓発事業	市立四年制大学の設置	
事業概要	<p>ものづくりを将来的に支える人材育成のため、産業界と大学または各種団体が開催する、ものづくり教室の費用の一部助成します。</p> <p>○2009年度(平成21年度)から、工場見学などを通じて中小企業の技術や特徴的な製品を児童・生徒に知ってもらいながら、その材料を使ってものづくりを体験する教室を実施しています。</p> <p>○補助金額は、1回につき限度額5万円(対象経費は、会場使用料や材料費など)</p>	<p>地域に根ざした人材の育成、産業の活性化、教育環境の充実をめざして、四年制大学を設置します。</p> <p>○福山市立大学では、地域社会が抱える複雑・多様な課題の解決に向けて、地域と連携しながら学際的(分野横断的)な研究を推進し、持続可能な社会の構築に貢献できる豊かな創造性と高い実践的能力を備えた人材育成をめざします。</p> <p>※2学部2学科で学生総数1,000人程度を予定 (学部名) (学科名) (入学定員)(収容定員) 教育学部 児童教育学科 100人程度 400人程度 都市経営学部 都市経営学科 150人程度 600人程度</p> <p>○教育学部では、幅広い教養教育を基盤に、豊かな人間性を備え、未来を担う子どもの発達を乳児期から児童期まで総合的に捉え、一人ひとりの子どもを尊重した指導・支援ができる実践的指導力を持った教育者・保育者の育成を教育目標として、教育研究体制の構築を図っています。</p> <p>○市立大学と地域の保育所・幼稚園・学校及び関係施設などが協力し、地域と協働した子育て支援や障がいのある子どもの早期発達支援、保護者に対する相談支援などの官学連携について検討します。</p>	
数値目標等			
現状値			
目標値			
2010年度計画	引き続き実施します。	2011年(平成23年)4月の開学に向けて、引き続き取り組みます。	
(予算額:千円)	500	2,929,461	
備考 (特記事項)			

2010年度(平成22年度)
新 規 事 業

【新規事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	3 - 5 - 1 1	3 - 5 - 1 2	3 - 5 - 1 4
担当部課		環境部環境啓発課	環境部環境啓発課	経済部観光課
具体的な施策 (個別事業名)		環境出前授業	環境教育副読本の作成・配布	市立動物園
事業概要	<p>子どもたちに環境に関する啓発活動の一環として、学校に出向き、年齢に応じた授業を実施します。</p> <p>子どもたちの環境への関心と理解を深めるため、ごみ・水・大気など環境全般の問題や水生生物調査などについて、出前授業をしています。</p>	<p>小学校において、環境について興味・関心を持ち学習してもらうため、副読本を作成・配布しています。</p> <p>市内の全小学校4年生へ副読本を配布し、4年生から6年生までの3年間において環境に関する授業などで活用しています。</p>	<p>家族ぐるみのレクリエーションの場として、また動物とのふれあいをおして豊かな情操を養う社会教育施設として、環境教育を実施しています。</p> <p>○「生への慈しみを学ぶ、多自然型リフレッシュ空間」を基本テーマに、環境教育や調査研究の場としての機能が果たせるよう、長期的視野に立って、展示施設などを計画的に整備しています。</p> <p>○入園料は、中学生以下は無料です。(一般300円)</p> <p>○2006年(平成18年)からは、毎年夏休み期間に「夜の動物園」を開催しています。</p>	
数値目標等				
現状値				
目標値				
2010年度計画	引き続き実施します。	引き続き実施します。	引き続き実施します。	
(予算額:千円)		1,200	493,769	
備考 (特記事項)				

2010年度(平成22年度)
新 規 事 業

【新規事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	3 - 6 - 5	4 - 2 - 7	4 - 3 - 15
担当部課	まちづくり推進部協働のまちづくり課	福祉部生活福祉課	保健福祉政策課	
具体的な施策 (個別事業名)	地域ポイント制度 (まちづくりパスポート事業)	子どもの健全育成支援事業	発達障がい児の支援	
事業概要	<p>市内に在住、通学、通勤している小・中・高校生及びその家族を対象に、地域や市政に対する理解や関心を高め、将来のまちづくりの主角として活躍できるよう、地域活動やボランティア活動などへの参加・参画を促進する機会を提供し、支援します。</p> <p>○本市が主催などしている事業のうち、重点政策に沿った講座などでの学習・体験やイベントなどにボランティアとして参加した場合に、参加時間数に応じたポイントを付与し、ポイントに応じて特典を設けています(プールや動物園など公共施設の入場券、ばらの苗・図書カードなど)。</p> <p>○まちづくりパスポート冊子配布数 約10,016部(2010年3月31日現在)</p> <p>○対象活動及び参加者数 ・学習・体験 30事業2,138人 ・ボランティア 23事業5,005人</p>	<p>生活保護世帯に対する自立支援プログラムとして、子どもの高校進学支援や不登校などについて取り組み、子どもの健全育成を図ります。</p> <p>生活保護世帯の自立を促進するため「自立支援プログラム」を策定し、関係機関と連携を図りながら自立支援に取り組んでいます。2010年度(平成22年度)より新たなプログラムとして「子どもの健全育成支援事業」を策定し、子どもの高校進学支援や不登校などについての取り組みを行います。</p>	<p>幼児期における発達の障がい等を早期に発見し、適切な支援につなげるための拠点として、(仮称)療育センターの整備に向け取り組みます。</p> <p>2009年度(平成21年度)においては、専門医・学識経験者等で構成する(仮称)療育センター整備のあり方検討会を開催するとともに、市民のニーズ調査やパブリックコメントを実施する中で意見を求め、「(仮称)療育センター整備基本構想」を策定しました。</p>	
数値目標等				
現状値				
目標値				
2010年度計画	<p>(対象) 市内に在住、通学、通勤している小・中・高校生及びその家族に加え、専門学校生や大学生を対象を広げます。</p> <p>(対象活動) 市が主催などしている事業に加え、小・中・高校におけるボランティア活動や各学区(町)まちづくり推進委員会が実施する事業、市民活動団体が実施する事業にボランティアとして参加した場合など、ポイントの対象活動を広げます。</p> <p>(特典) 250ポイントを1ステージとして、500ポイント(2ステージ)、750ポイント(3ステージ)、1000ポイント(4ステージ)と段階的に取り組めるよう、企業の協賛など特典の充実を図ります。</p> <p>(パスポート冊子) 本年放映されているNHK大河ドラマ「龍馬伝」のPRとの連携により「福山発・鞍龍馬」を活用した冊子を発行します。</p>	<p>支援員2名を配置し、学校や教育委員会など関係機関と連携を図りながら取り組みます。</p>	<p>(仮称)療育センター整備基本構想に基づき、引き続き県や近隣市町と連携し、早期の整備に向け取り組みます。</p> <p>また、基本計画の策定に向け取り組みます。</p>	
(予算額:千円)	1,194	5,529	831	
備考 (特記事項)	まちづくりパスポート冊子配布数・対象活動及び参加者数を最新のものにしています。			

2010年度(平成22年度)
新 規 事 業

【新規事業用】

コード	基本方針 - 基本 施策 - 個別事業	5 - 1 - 5
担当部課	建築部住宅課	
具体的な施策 (個別事業名)	市営住宅入居専用枠の設定	
事業概要	子育て、母子、障がい者、高齢者世帯など、住宅に困窮している世帯に対する的確な供給を図ります。・少子高齢化に対応するため、市営住宅に子育て・障がい者・高齢者世帯専用枠を確保し、入居の優遇を図っています。	
数値目標等		
現状値		
目標値		

2010年度計画	○引き続き実施し、新規に入居する子育て世帯に関しては、期限付契約などの手法も検討し、入居機会の確保を図ります。 ○入居世帯人数に即した居住水準を確保するため、入居者の住替えを促進します。
(予算額:千円)	
備 考 (特記事項)	